

平成27年度 児童生徒の生活習慣病予防対策

肥満統計の概要と考察

目次

1. 支部別肥満児の割合	(小学校)	7. 支部別高度肥満児の割合	(小学校)	13. 学年別肥満児の全国との比較	(男子)
2. ”	(中学校)	8. ”	(中学校)	14. ”	(女子)
3. 肥満度別10年間の推移	(小学校)	9. 支部別やせの割合	(小学校)	15. 高度肥満児童生徒の受診状況調査結果	
4. ”	(中学校)	10. ”	(中学校)	16. 肥満調査結果の考察	
5. 同一集団の9年間の経次推移	(男子)	11. 学年別やせの割合	(男子)		
6. ”	(女子)	12. ”	(女子)		

肥満対策委員会

委員長 山脇 英範
委員 高橋 正彦
” 平野 岳毅
” 野末 裕紀
” 平野 千秋

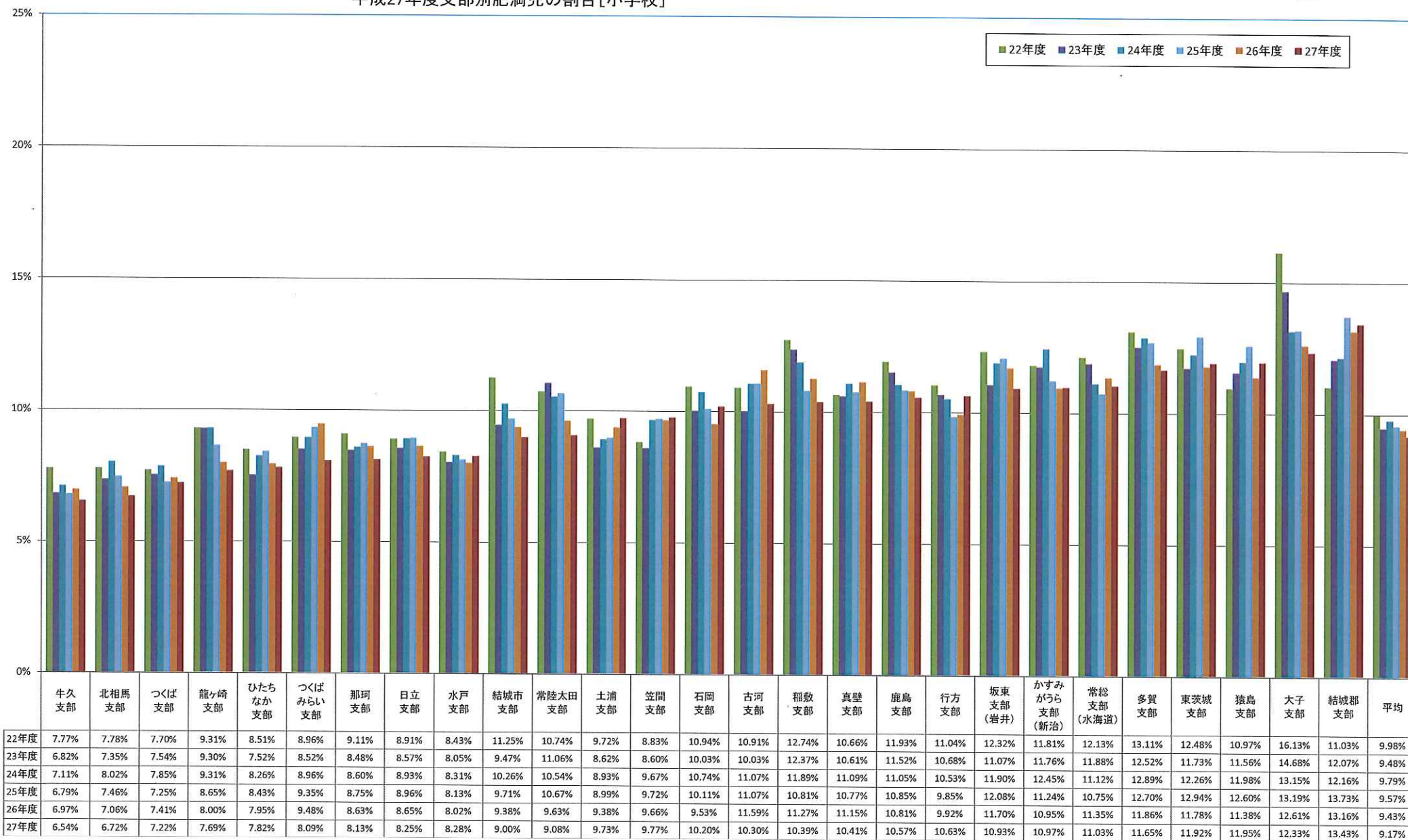
委員 荻野 義重
” 戸崎 五十三
” 上林 範子
” 小川 正一
” 比留間 恵子

委員 片山 美千恵
” 根本 光子
” 小野瀬 尋子
” 永山 みち子
” 権田 多美子

※詳細は各支部保健会事務局送付のCDをご覧ください。

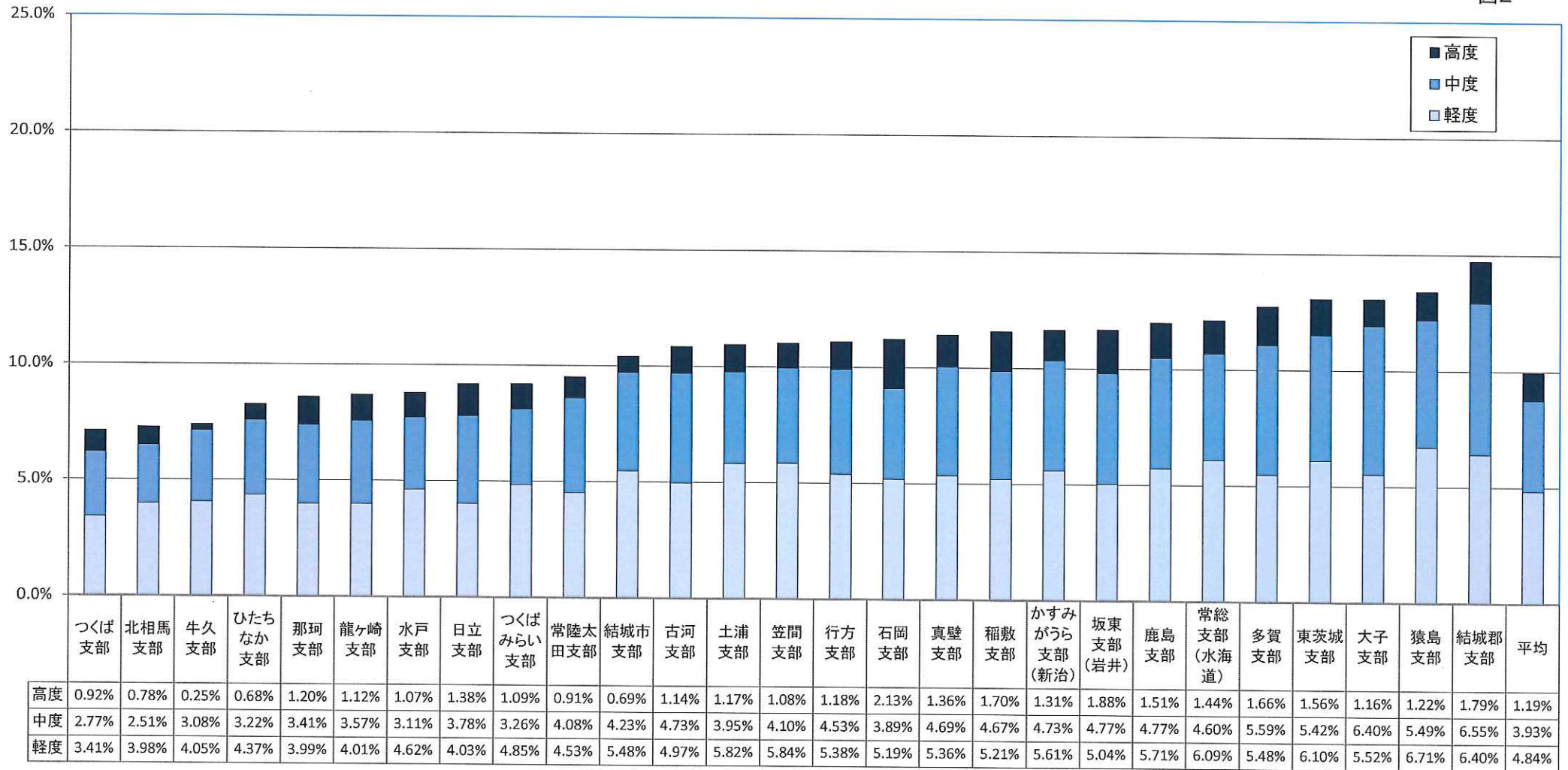
平成27年度支部別肥満児の割合[小学校]

図1



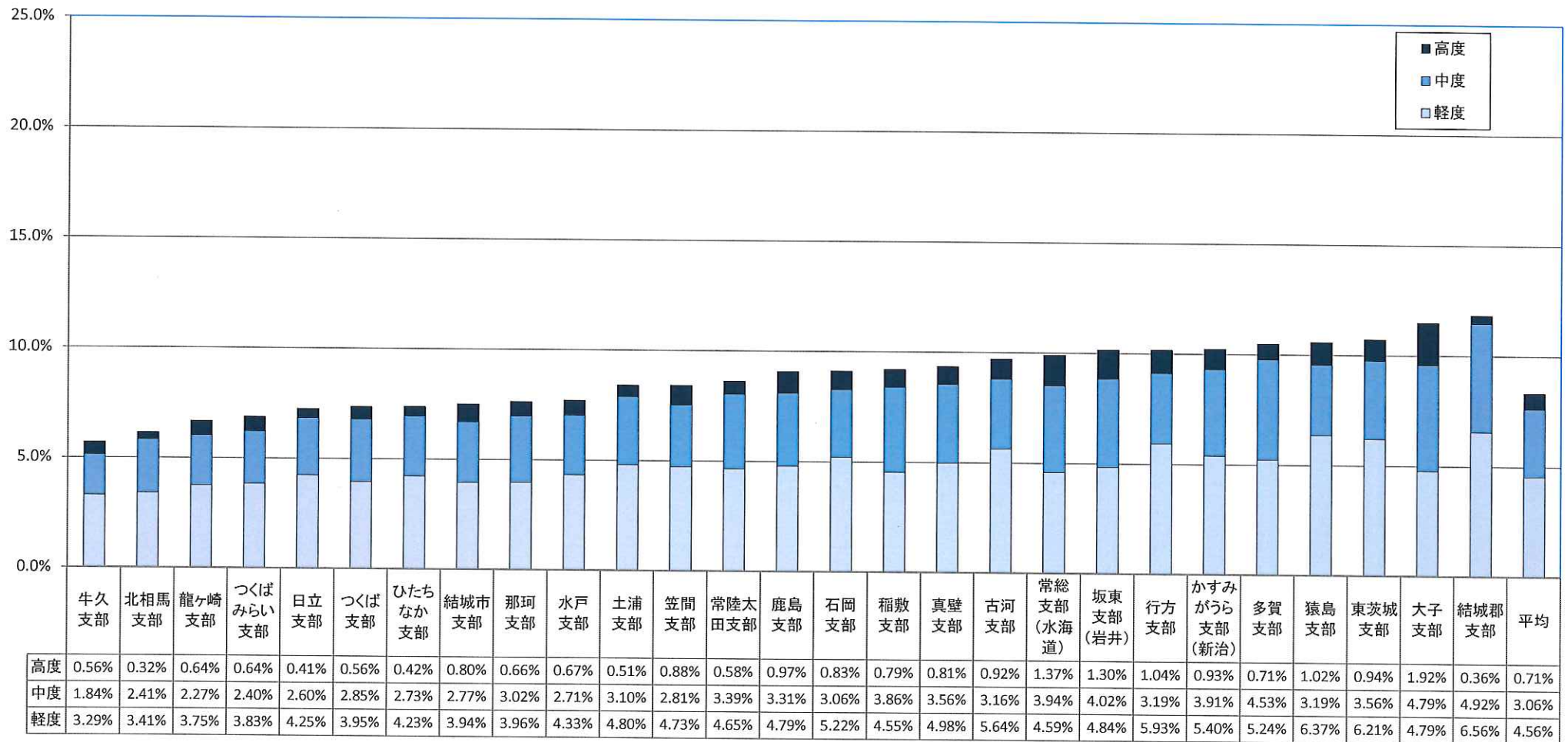
平成27年度支部別肥満児の割合[小学校男子]

図2



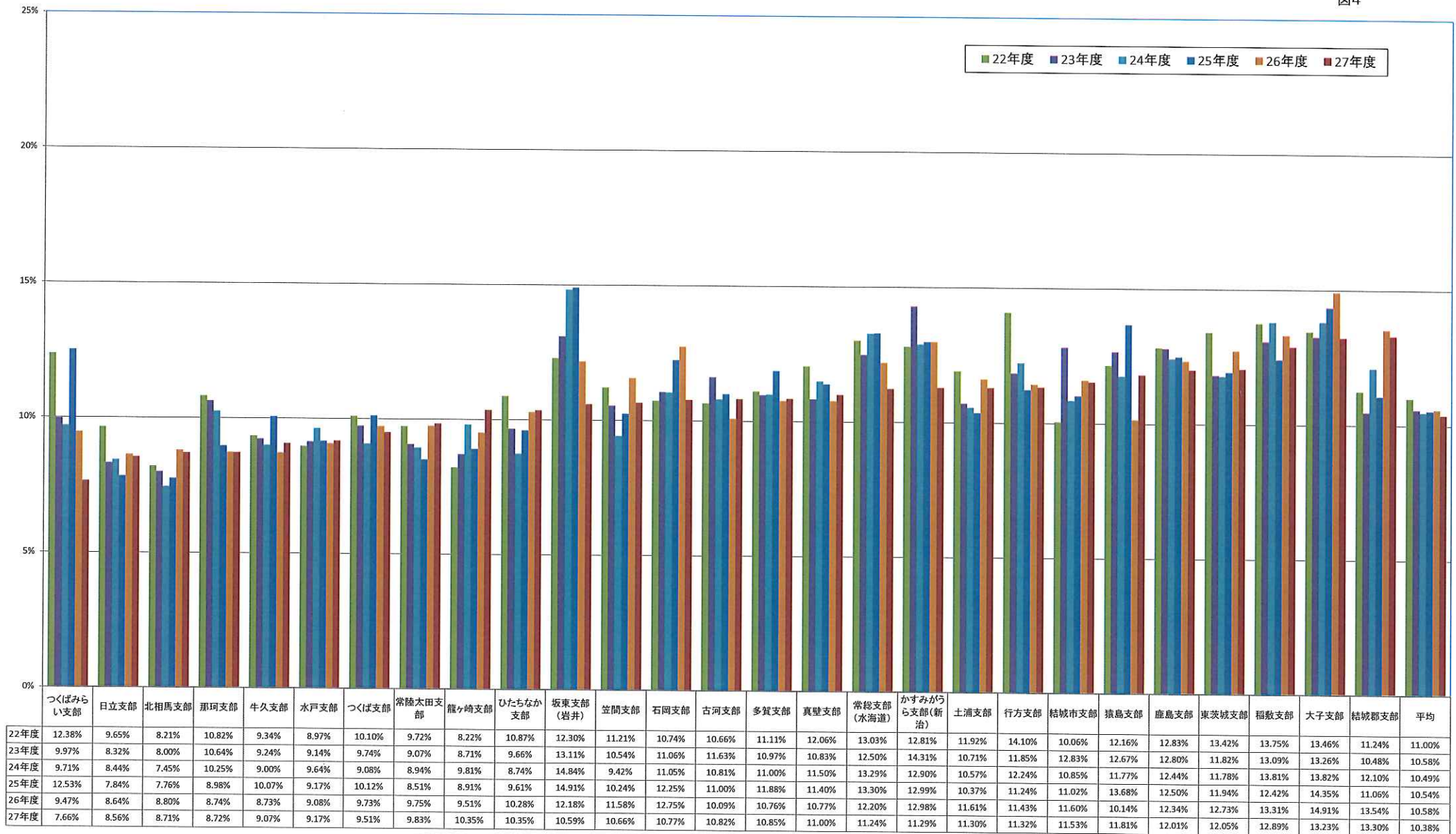
平成27年度支部別肥満児の割合[小学校女子]

図3



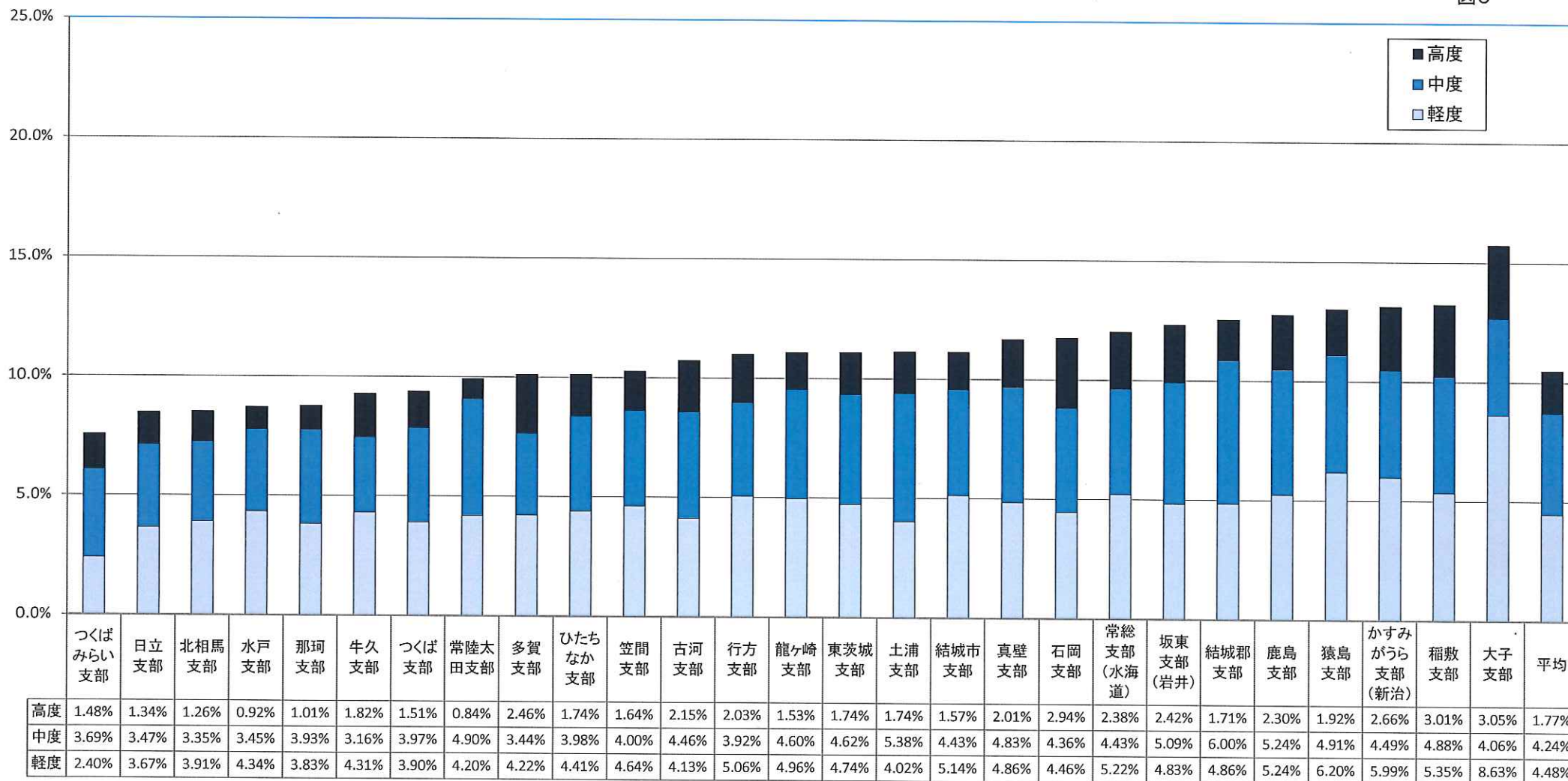
平成27年度支部別肥満児の割合[中学校]

図4



平成27年度支部別肥満児の割合[中学校男子]

図5



平成27年度支部別肥満児の割合[中学校女子]

図6

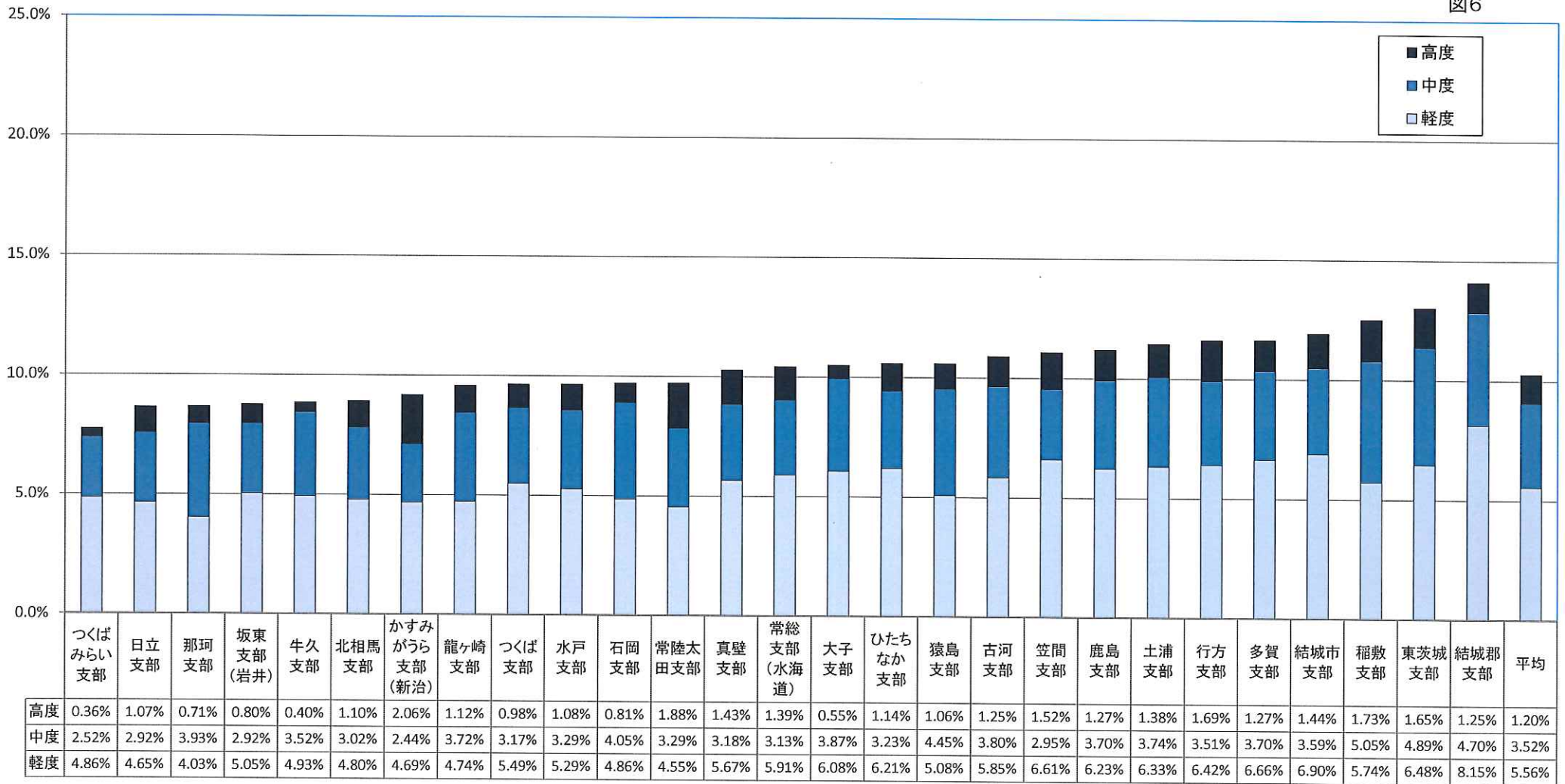
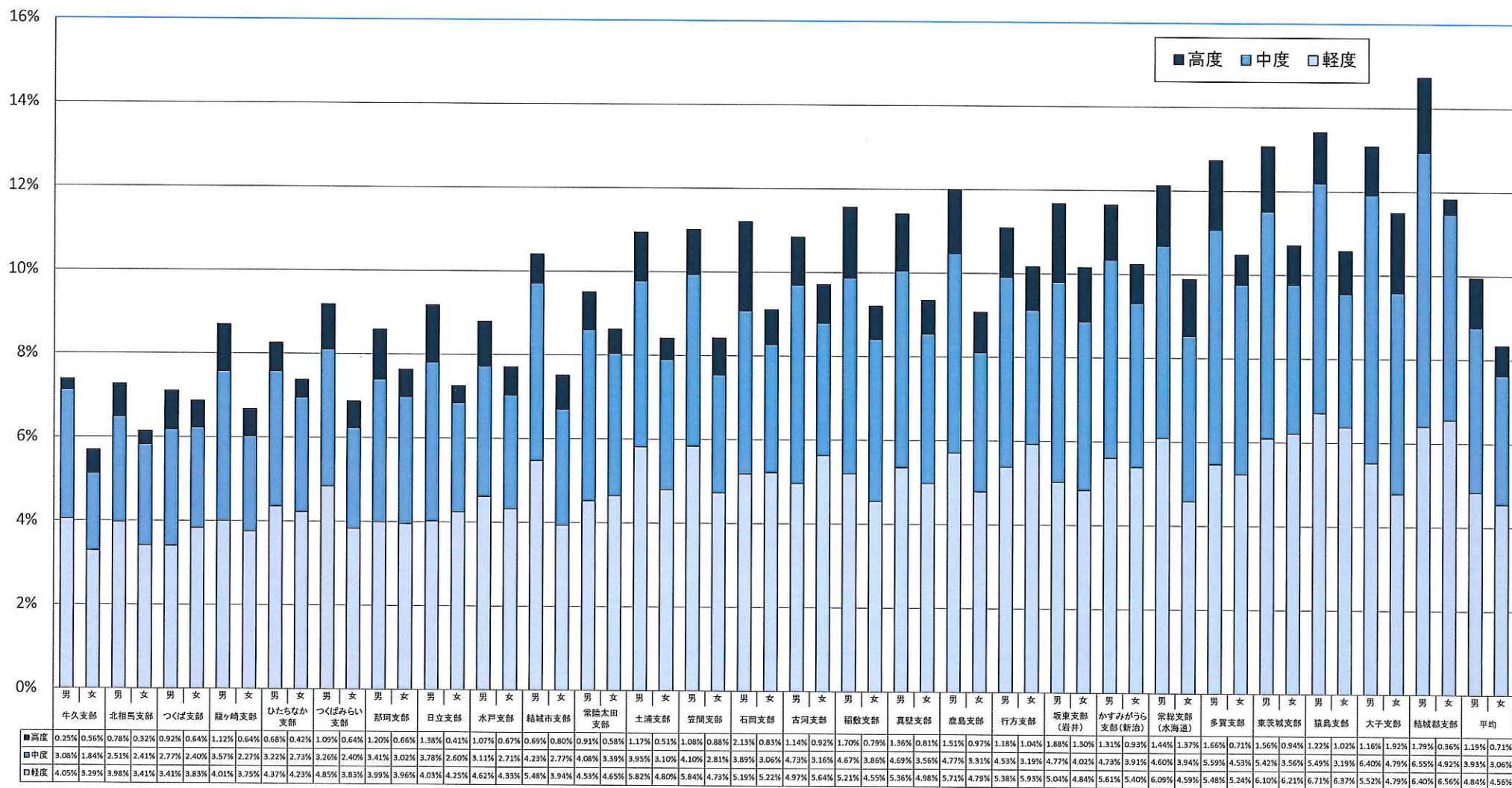
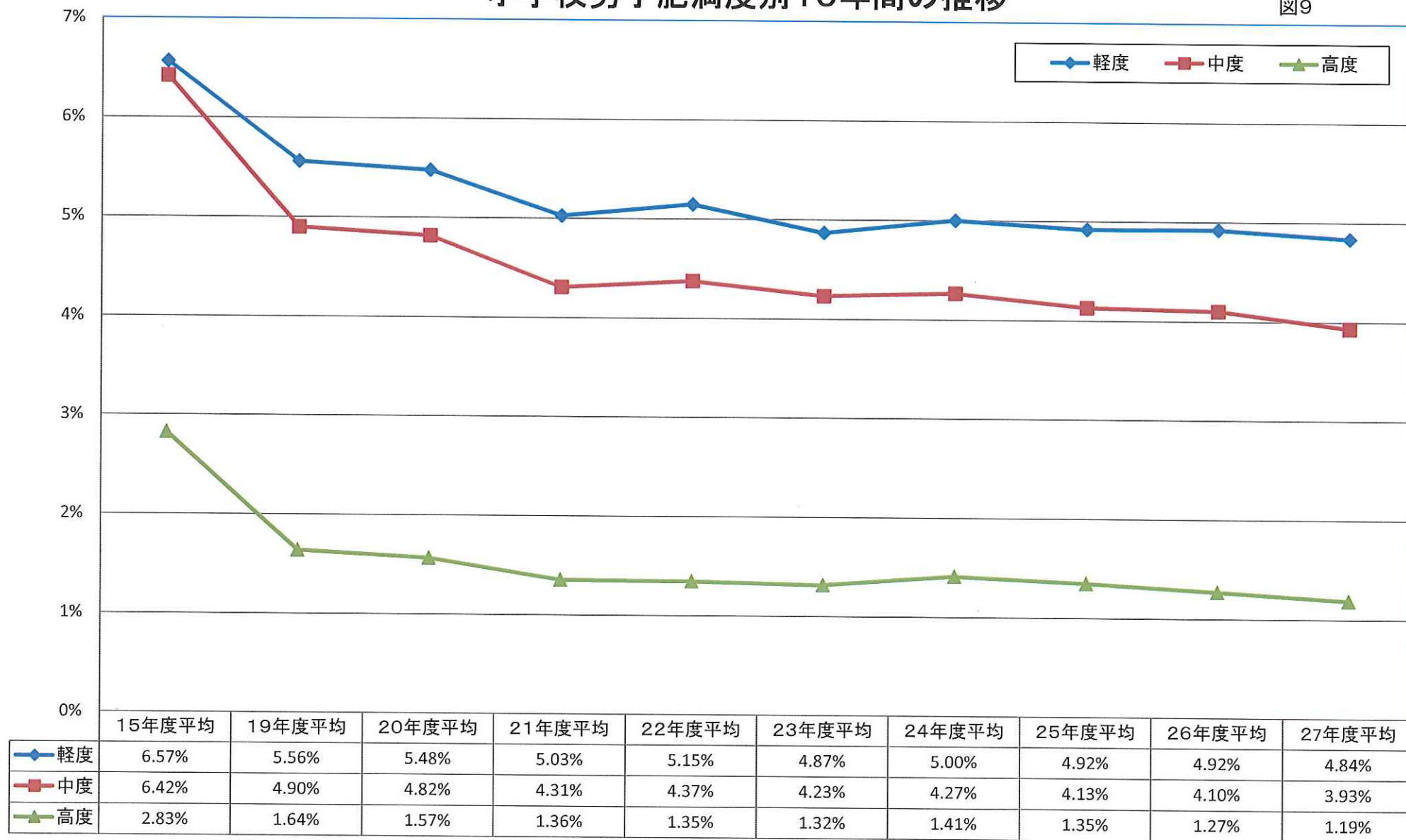


图8



小学校男子肥満度別10年間の推移

図9



小学校女子肥満度別10年間の推移

図10

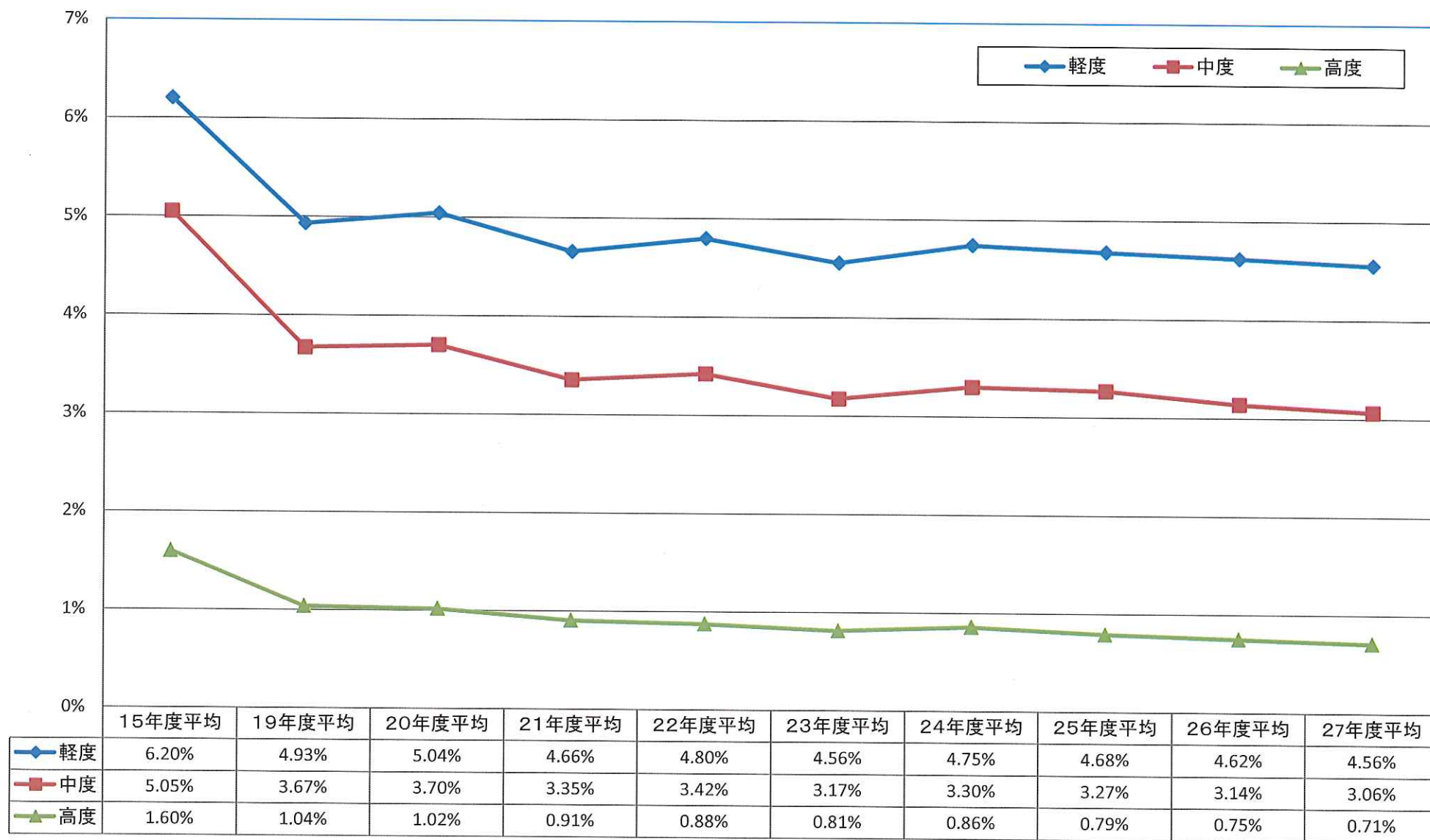
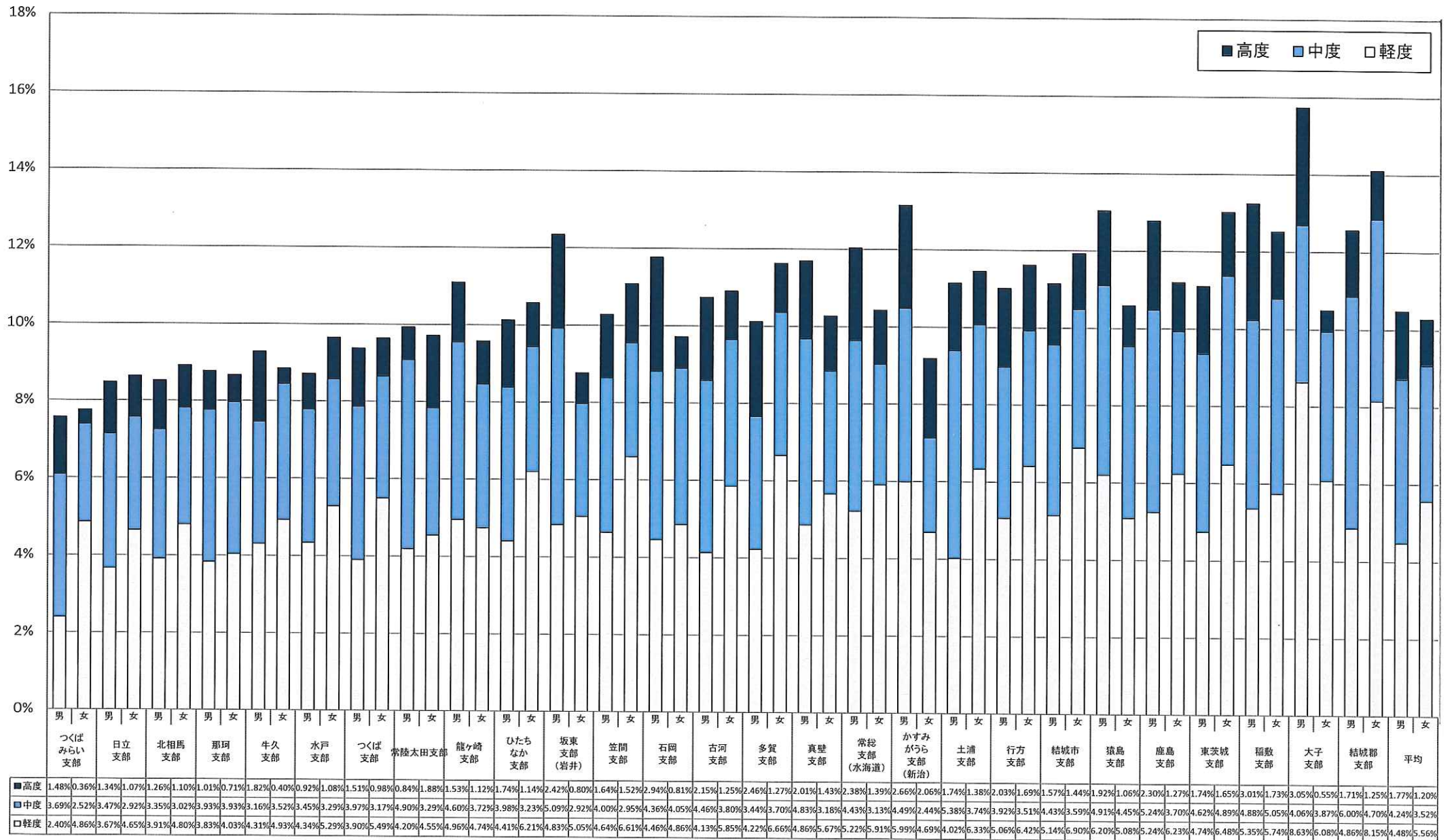
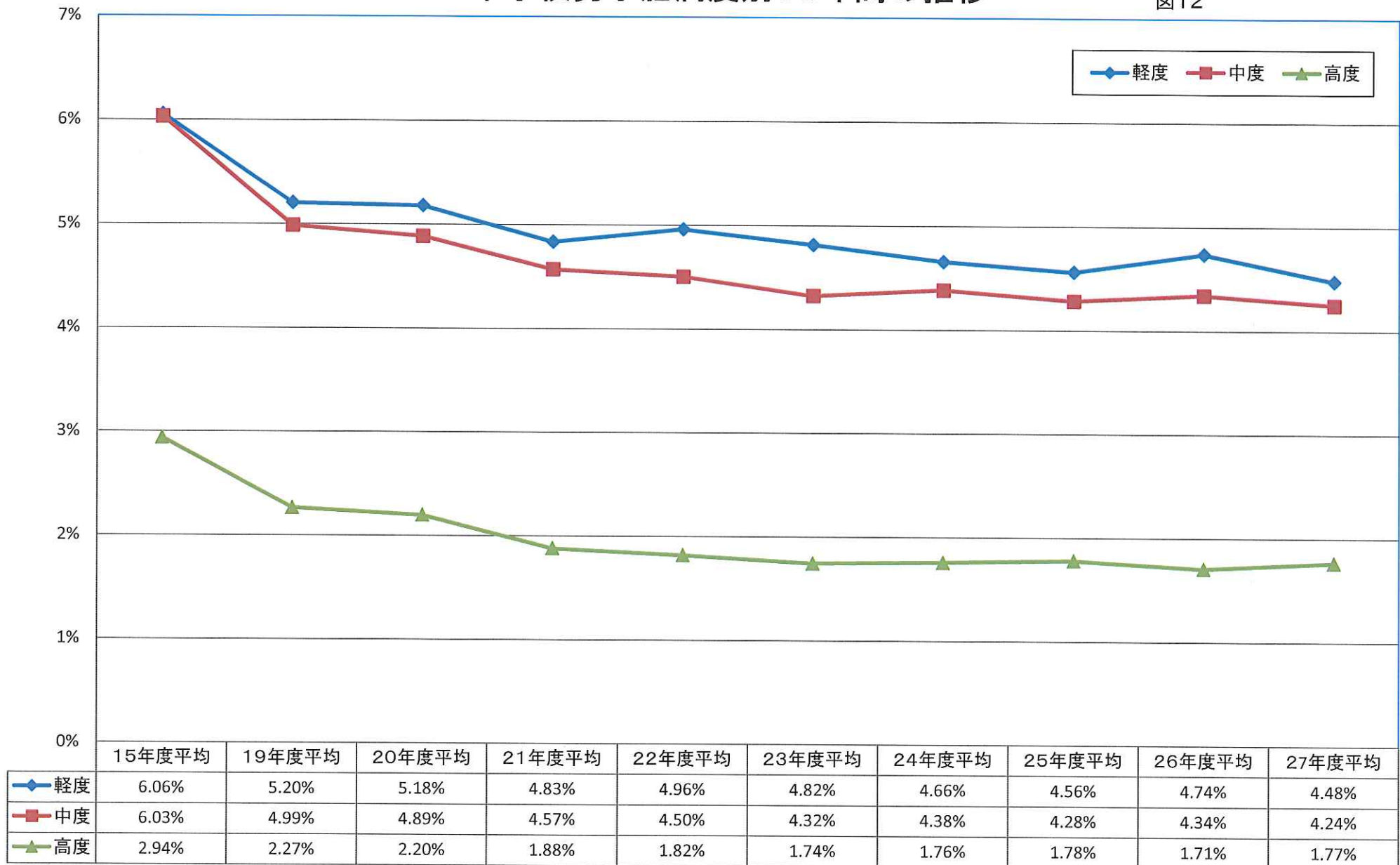


図11



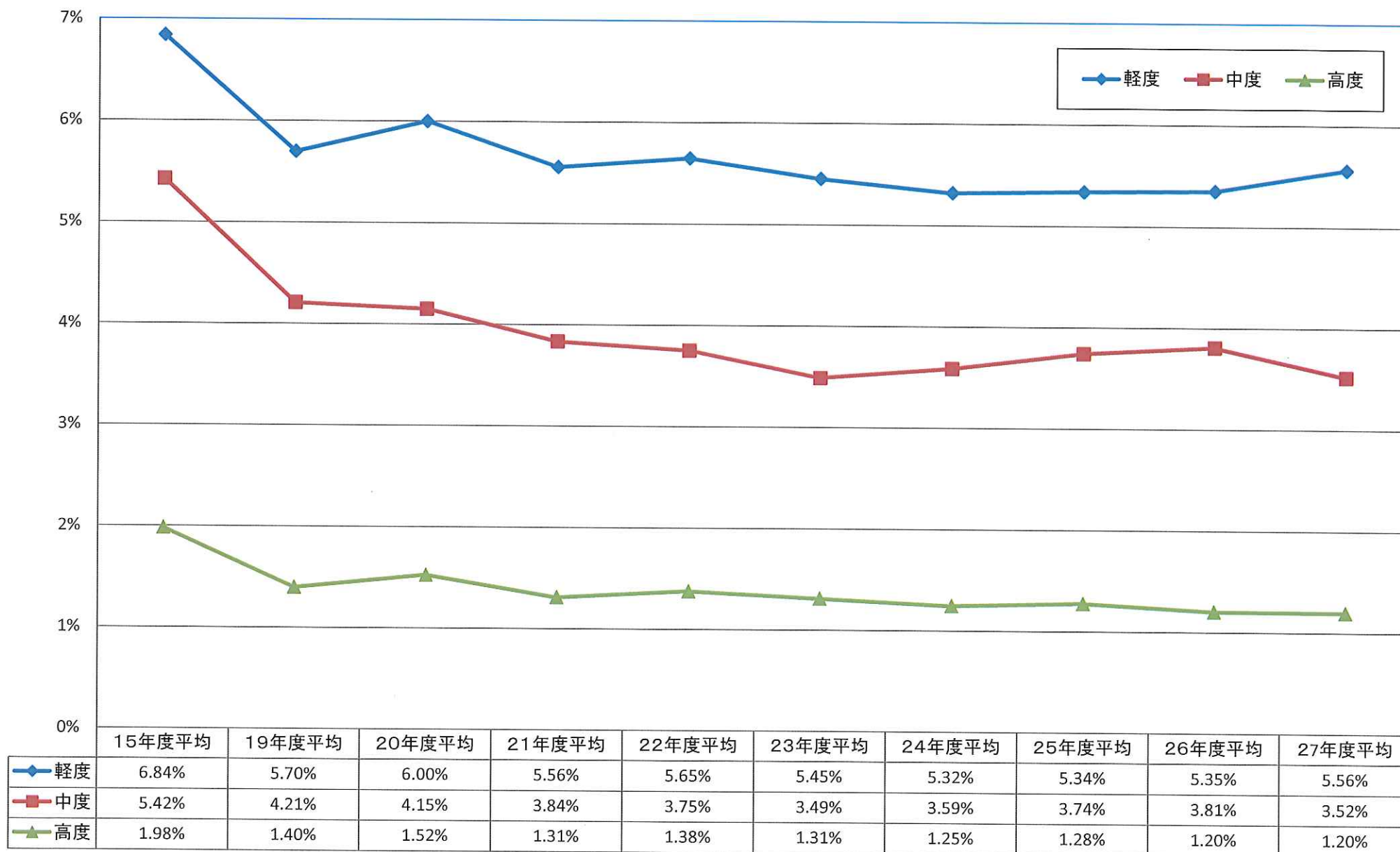
中学校男子肥満度別10年間の推移

図12



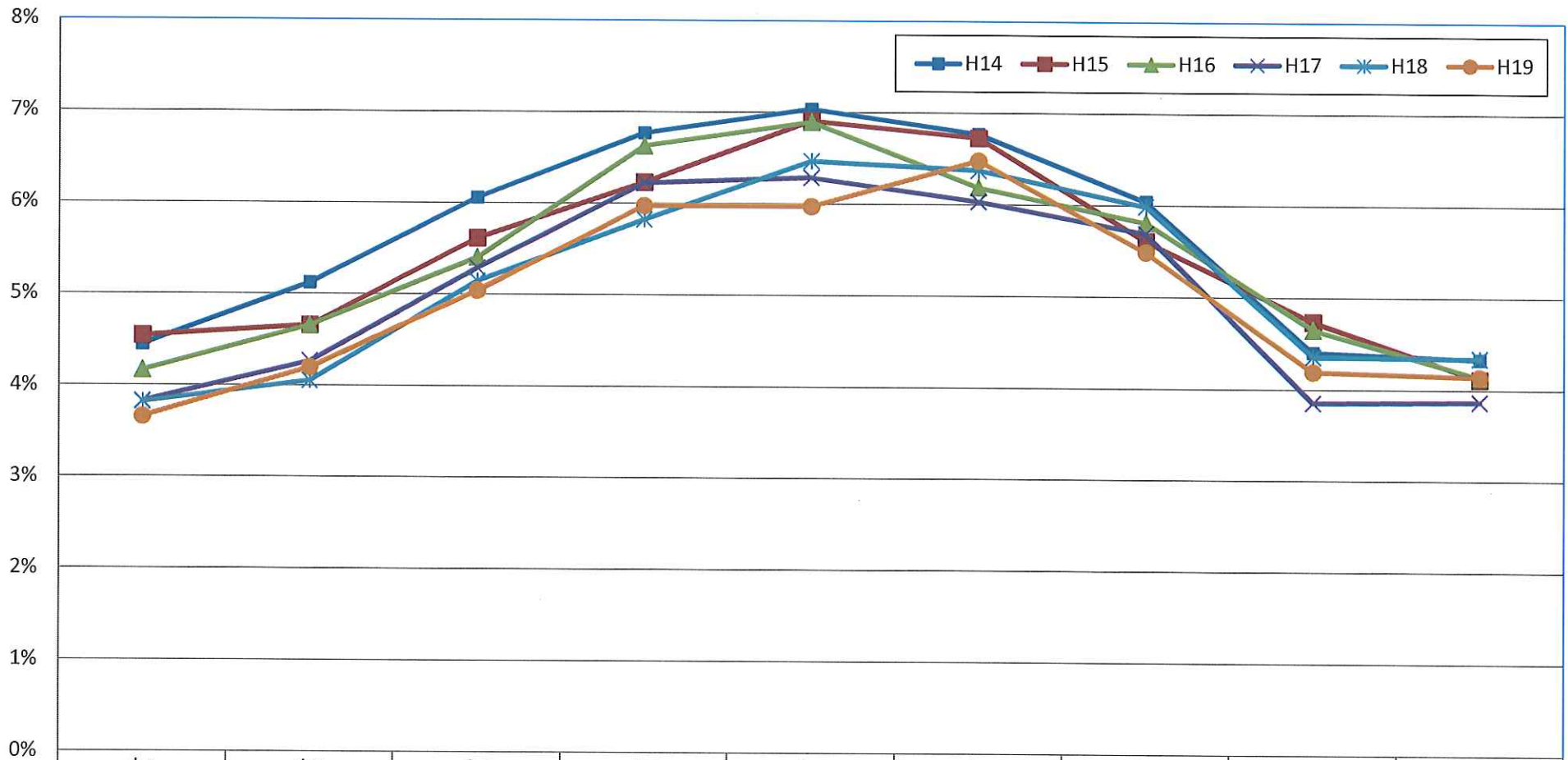
中学校女子肥満度別10年間の推移

図13



同一集団経時推移(軽度肥満・男子)

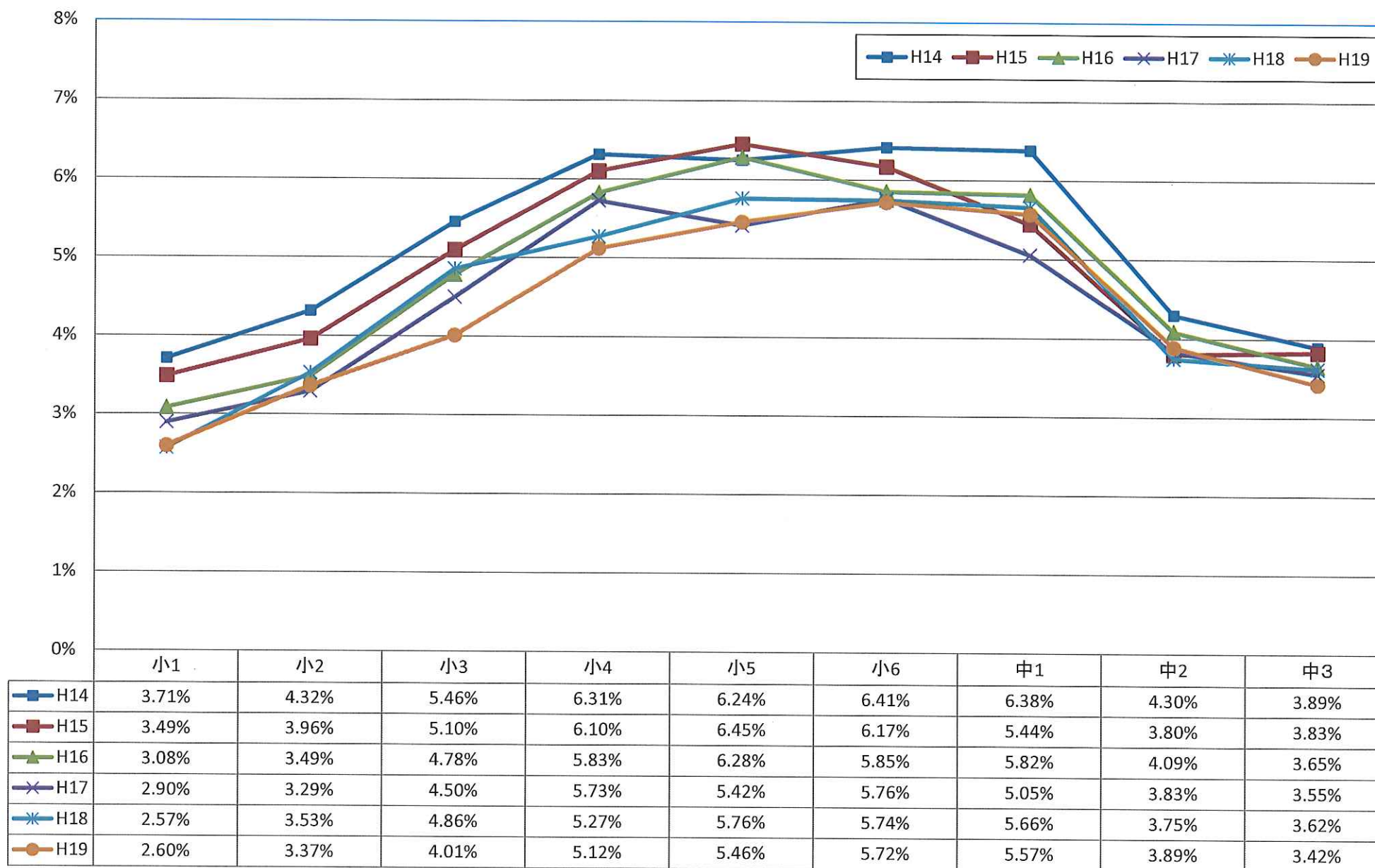
追加図1



	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
H14	4.45%	5.12%	6.06%	6.77%	7.03%	6.77%	6.04%	4.40%	4.33%
H15	4.54%	4.66%	5.61%	6.23%	6.91%	6.73%	5.61%	4.73%	4.11%
H16	4.17%	4.66%	5.40%	6.62%	6.89%	6.18%	5.81%	4.65%	4.14%
H17	3.83%	4.26%	5.29%	6.22%	6.29%	6.03%	5.69%	3.85%	3.87%
H18	3.82%	4.05%	5.14%	5.82%	6.47%	6.37%	5.99%	4.36%	4.34%
H19	3.66%	4.20%	5.04%	5.97%	5.97%	6.48%	5.49%	4.19%	4.14%

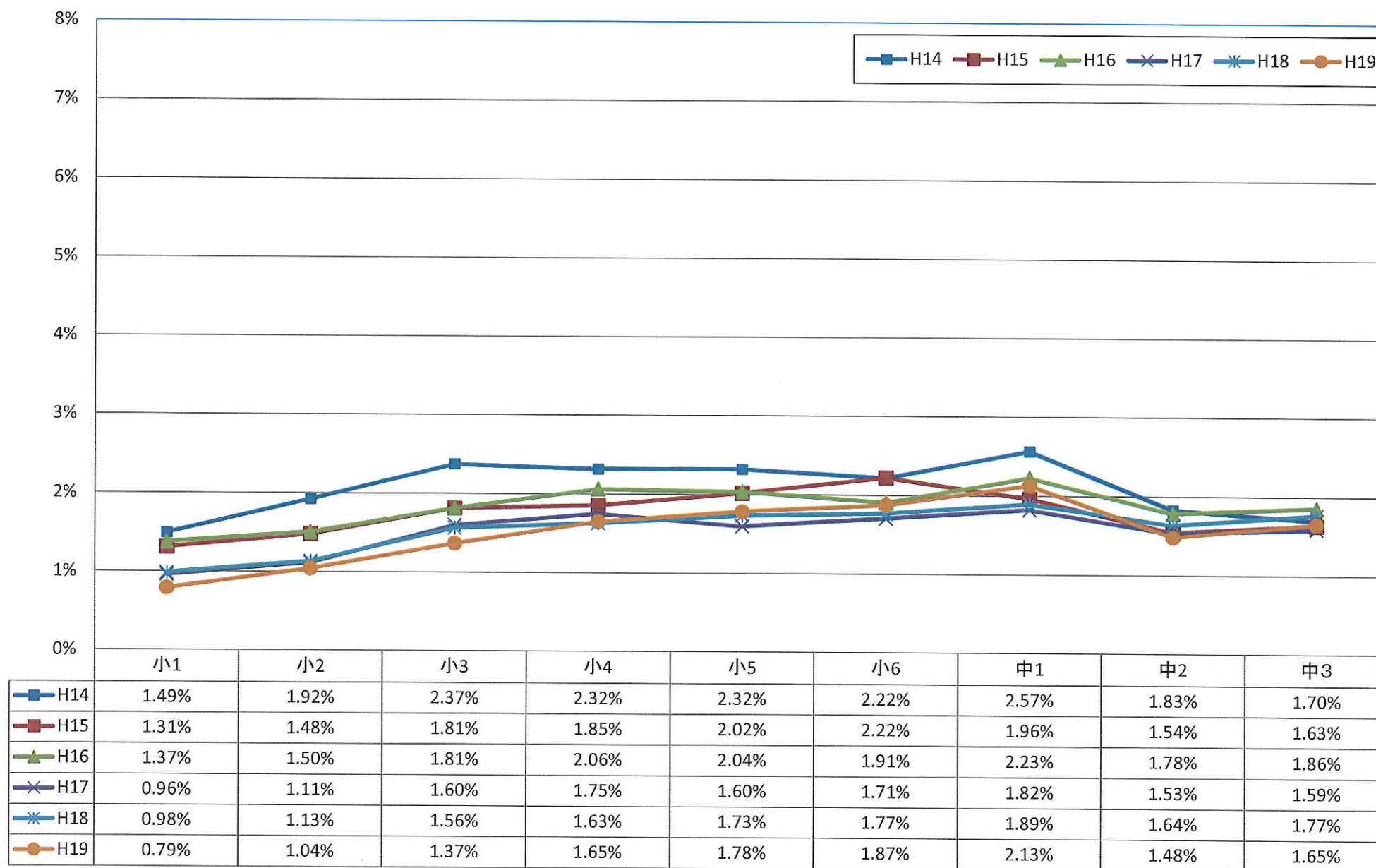
同一集團經時推移(中度肥満・男子)

追加図2



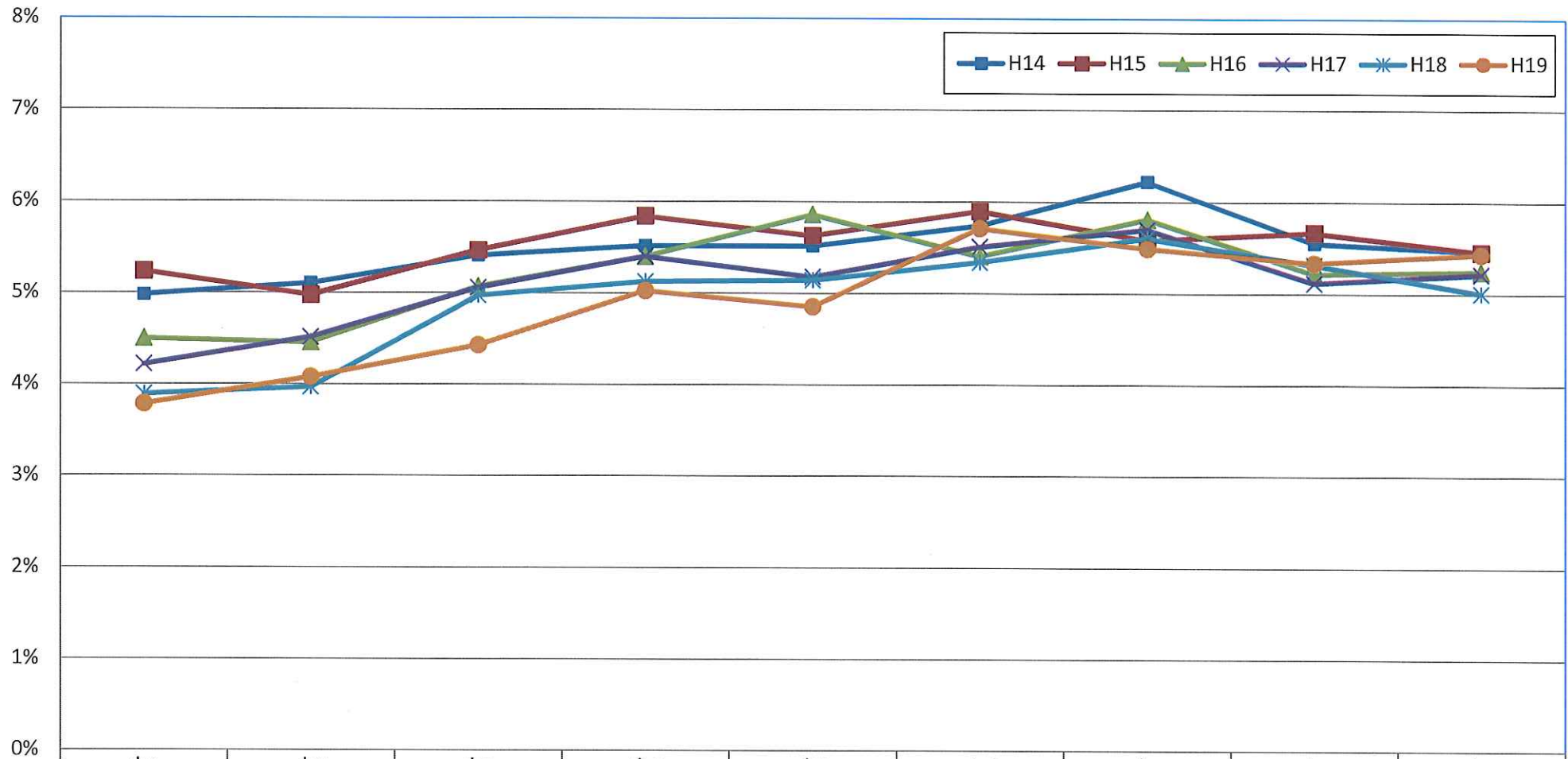
同一集團經時推移(高度肥満・男子)

追加図3



同一集団経時推移(軽度肥満・女子)

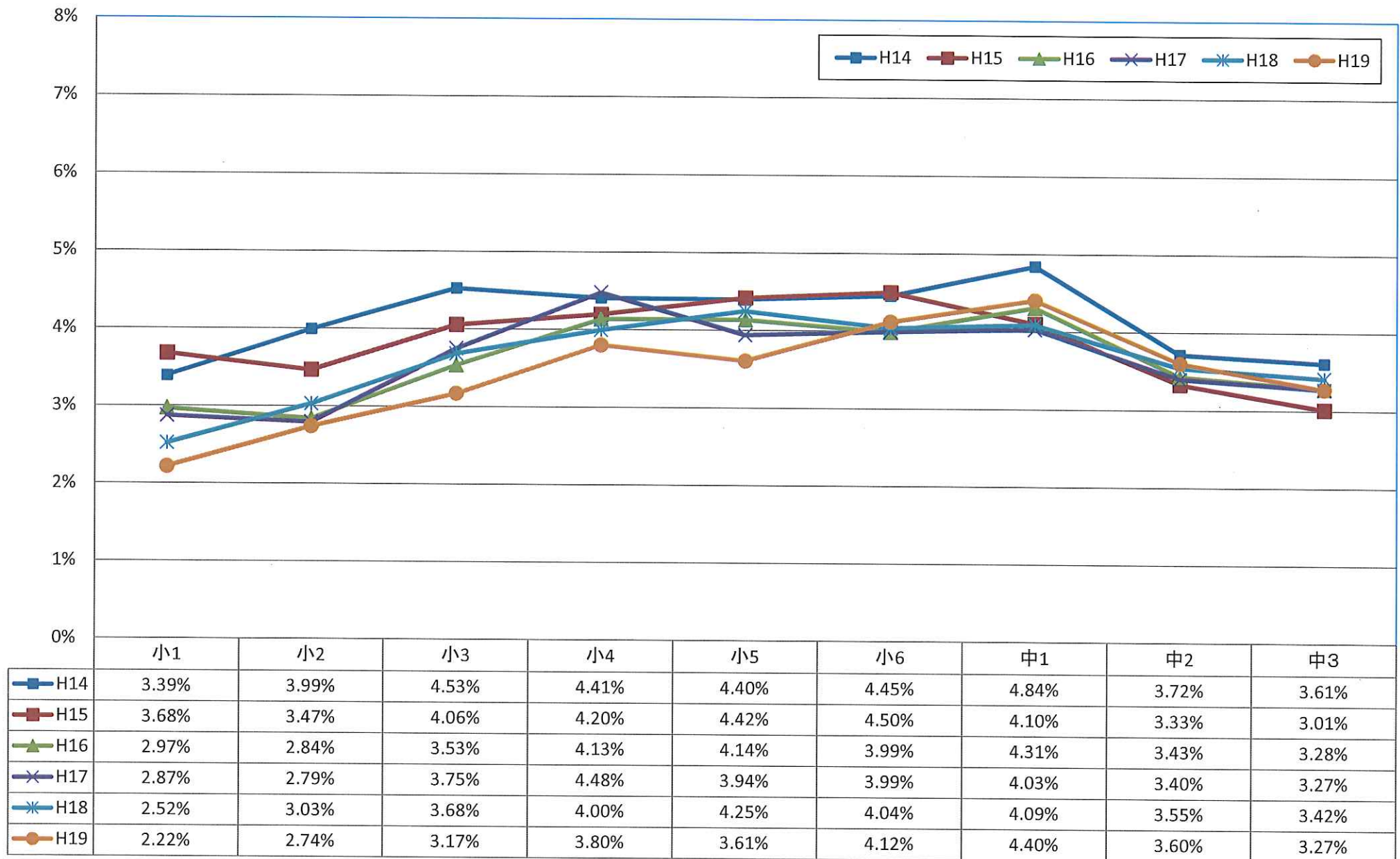
追加図4



	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
H14	4.98%	5.10%	5.41%	5.52%	5.52%	5.74%	6.22%	5.55%	5.46%
H15	5.23%	4.97%	5.46%	5.84%	5.63%	5.90%	5.58%	5.66%	5.45%
H16	4.50%	4.45%	5.07%	5.40%	5.86%	5.41%	5.81%	5.22%	5.24%
H17	4.21%	4.51%	5.05%	5.40%	5.18%	5.51%	5.70%	5.12%	5.21%
H18	3.89%	3.97%	4.97%	5.12%	5.14%	5.34%	5.61%	5.32%	5.01%
H19	3.79%	4.08%	4.43%	5.02%	4.85%	5.71%	5.49%	5.33%	5.43%

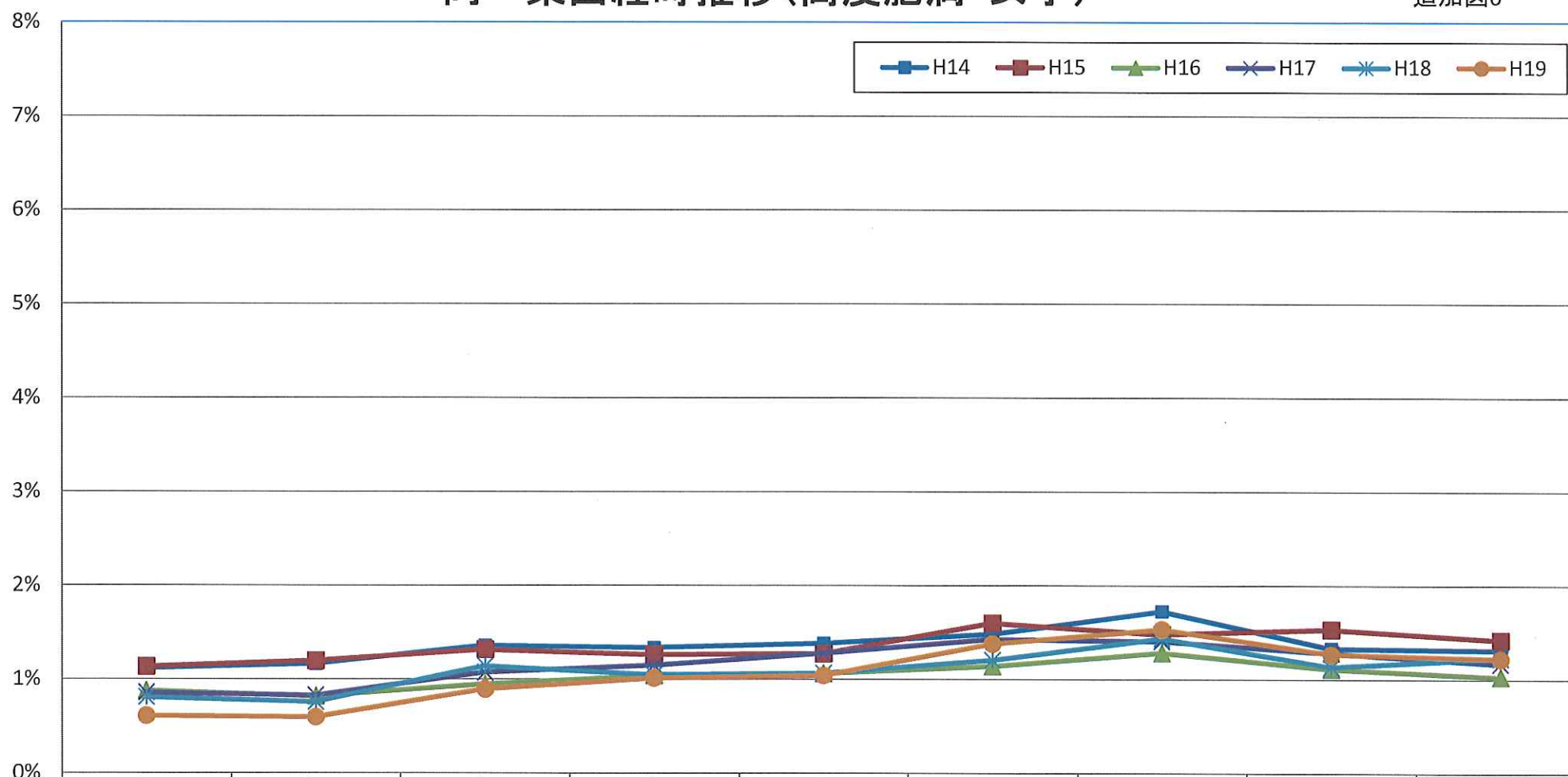
同一集团経時推移(中度肥満・女子)

追加図5



同一集団経時推移(高度肥満・女子)

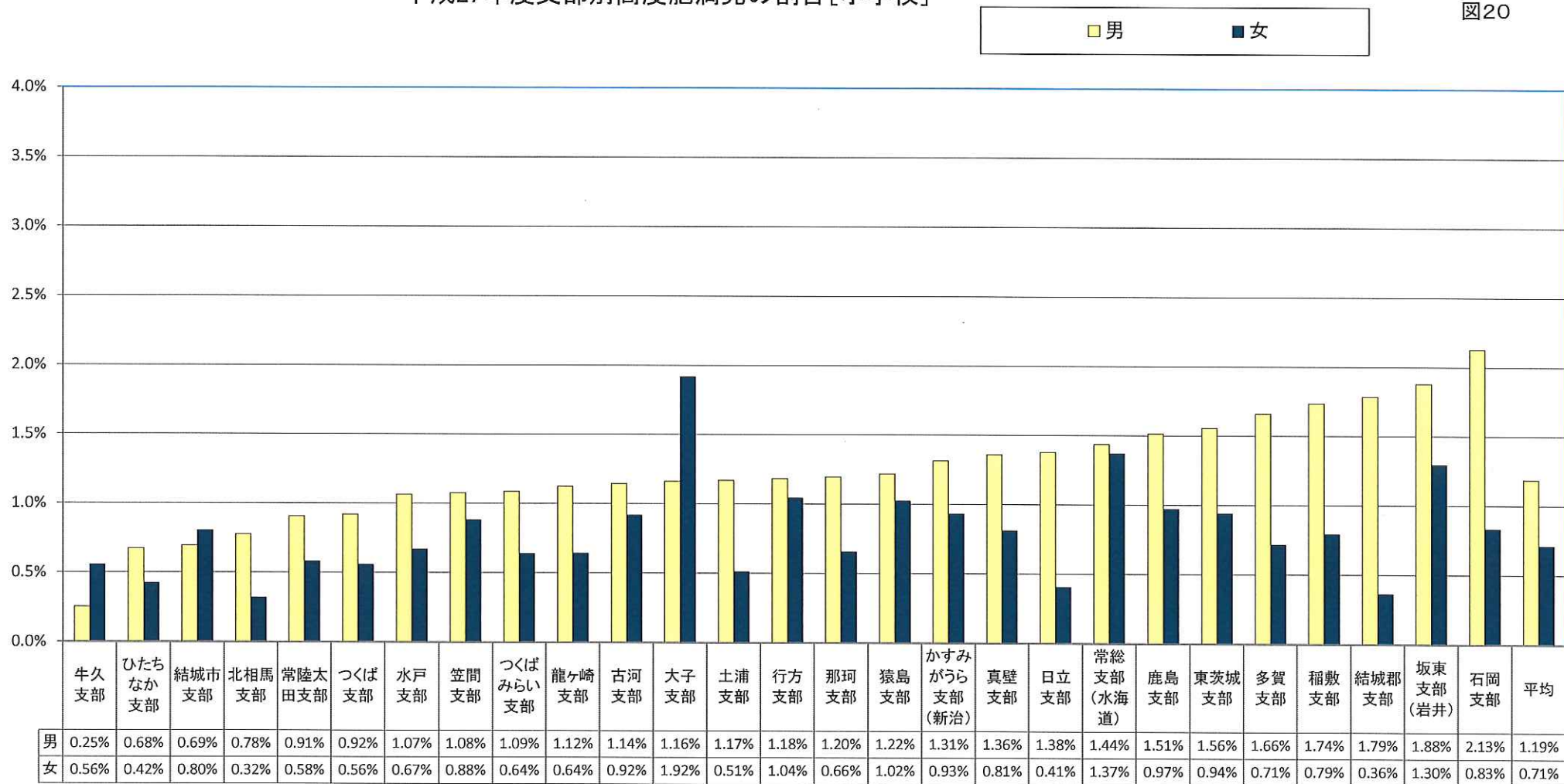
追加図6



	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
H14	1.11%	1.16%	1.36%	1.34%	1.38%	1.48%	1.73%	1.33%	1.31%
H15	1.13%	1.20%	1.32%	1.26%	1.27%	1.60%	1.48%	1.53%	1.42%
H16	0.88%	0.82%	0.94%	1.04%	1.06%	1.14%	1.28%	1.11%	1.03%
H17	0.86%	0.83%	1.07%	1.15%	1.28%	1.43%	1.41%	1.28%	1.17%
H18	0.81%	0.76%	1.14%	1.05%	1.06%	1.21%	1.44%	1.13%	1.23%
H19	0.61%	0.60%	0.89%	1.01%	1.04%	1.38%	1.53%	1.27%	1.22%

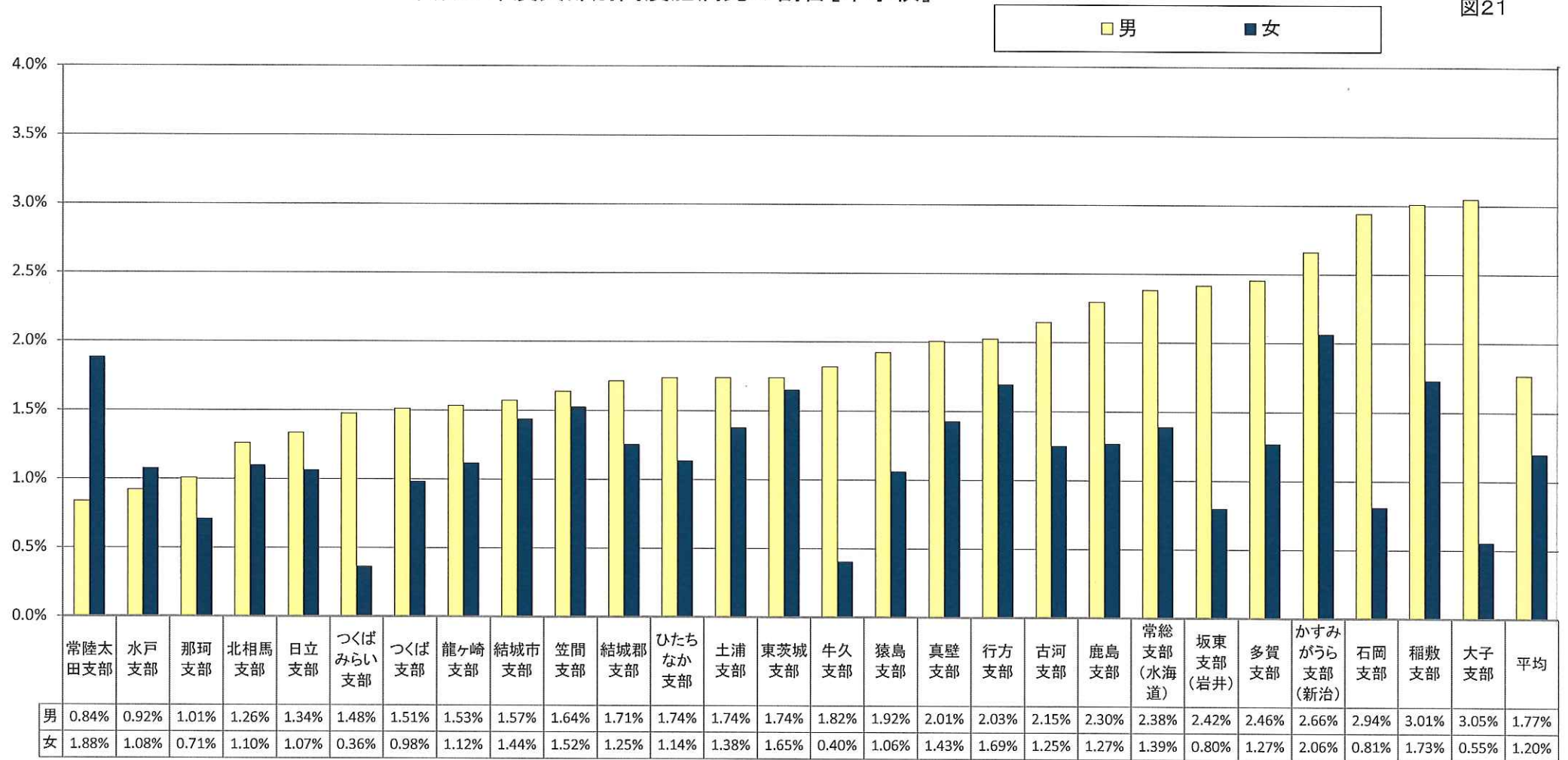
平成27年度支部別高度肥満児の割合〔小学校〕

図20



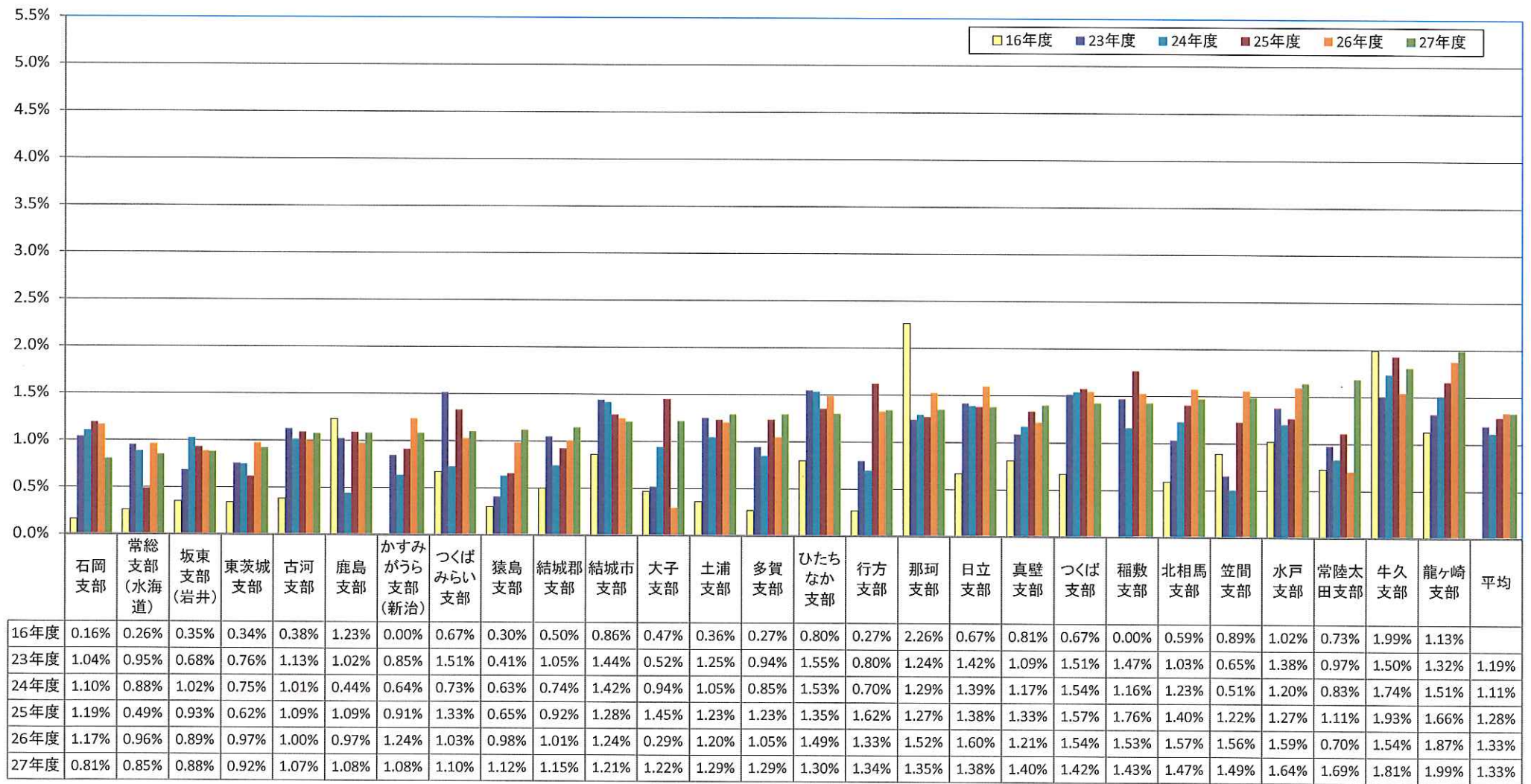
平成27年度支部別高度肥満児の割合[中学校]

図21



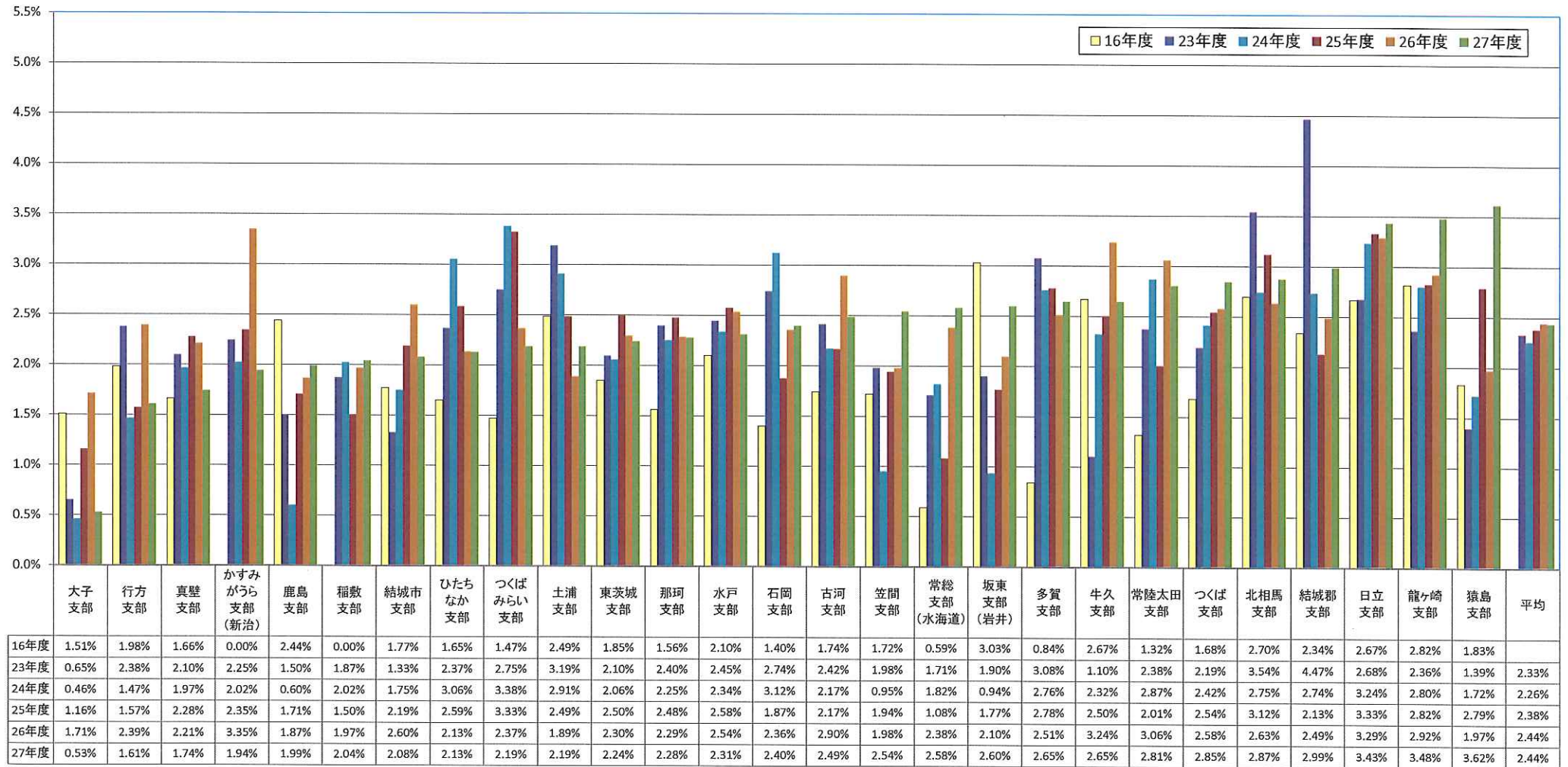
平成27年度支部別やせの割合〔小学校〕

図22



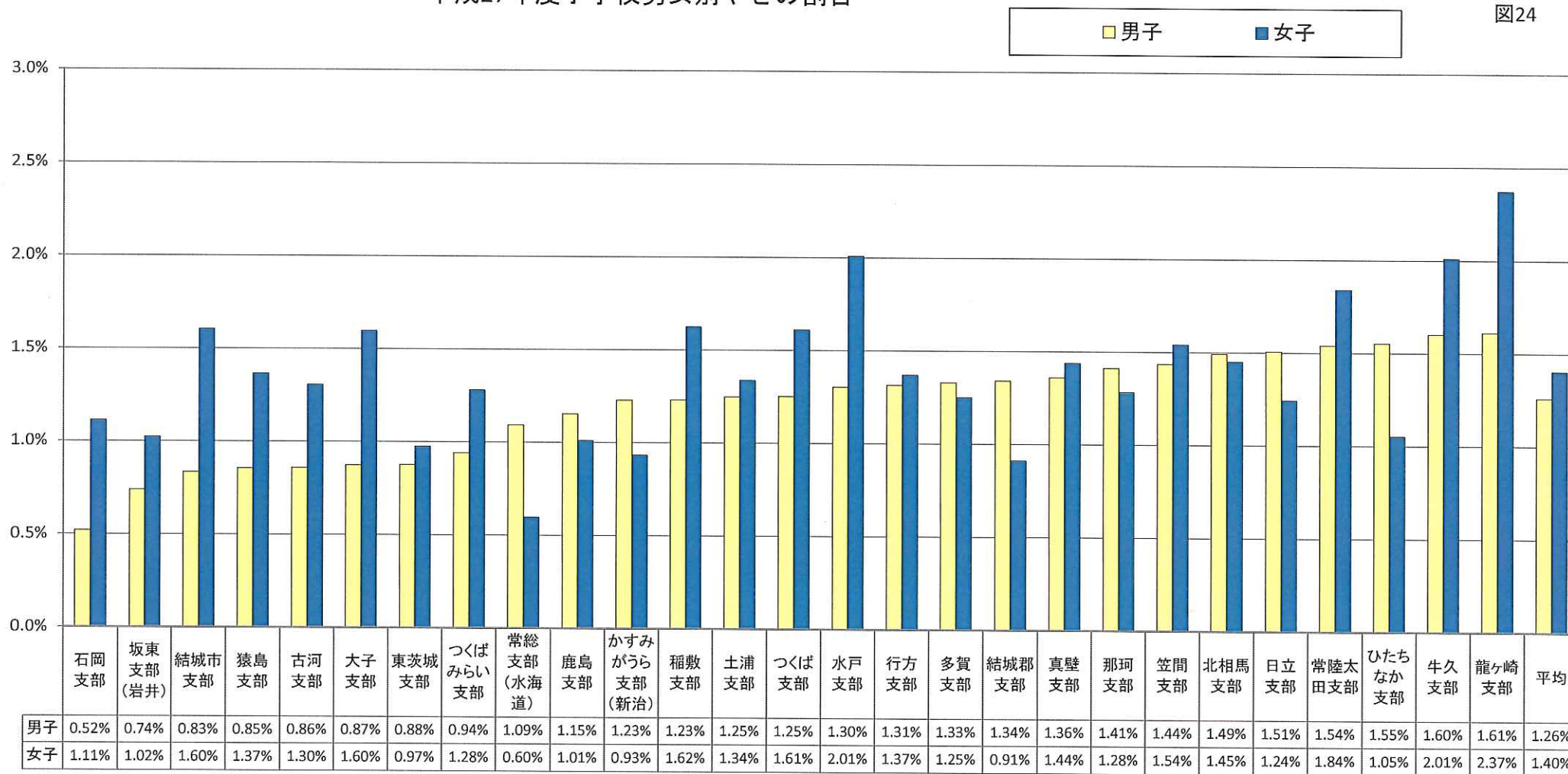
平成27年度支部別やせの割合[中学校]

図23



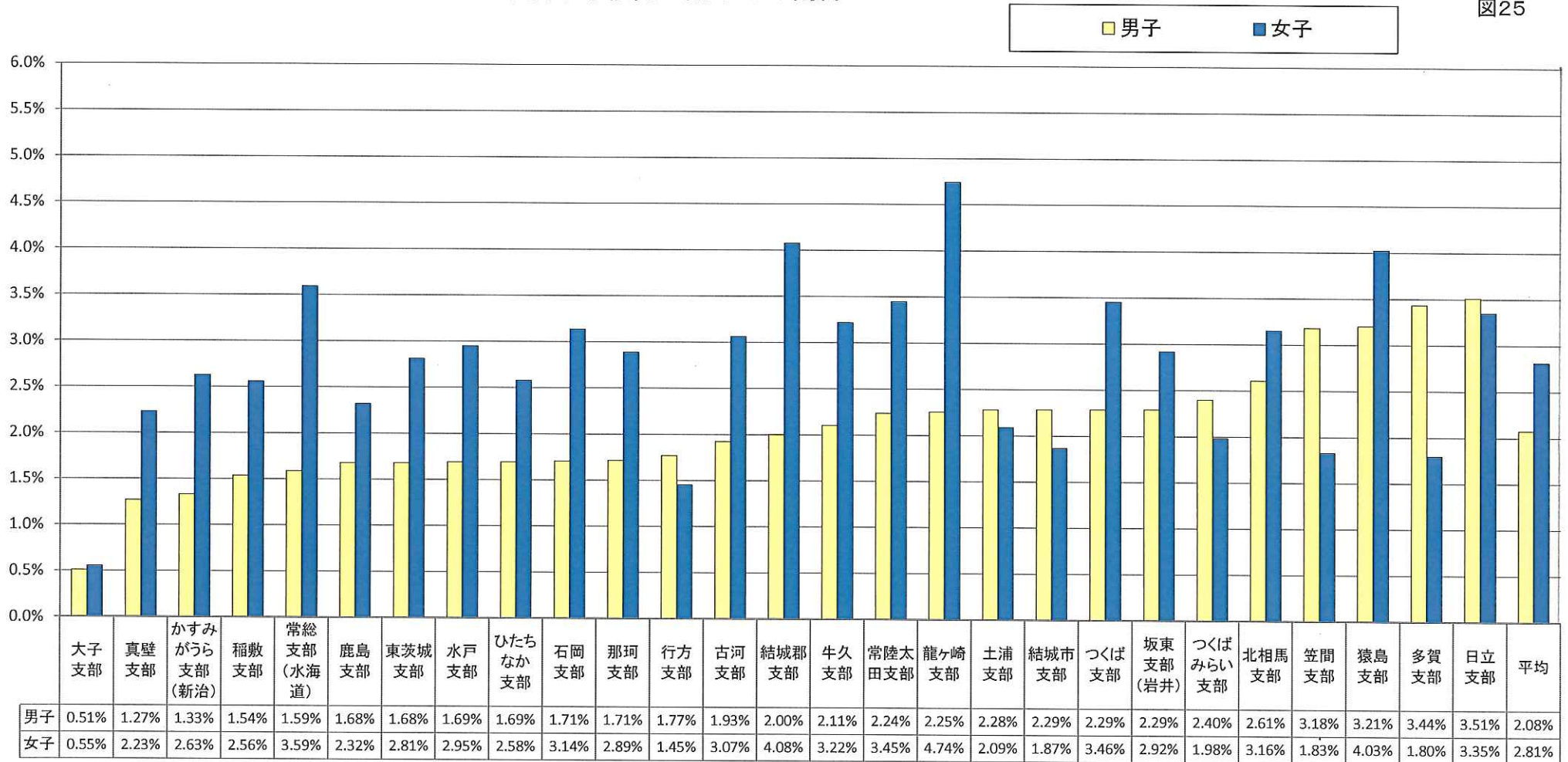
平成27年度小学校男女別やせの割合

図24



平成27年度中学校男女別やせの割合

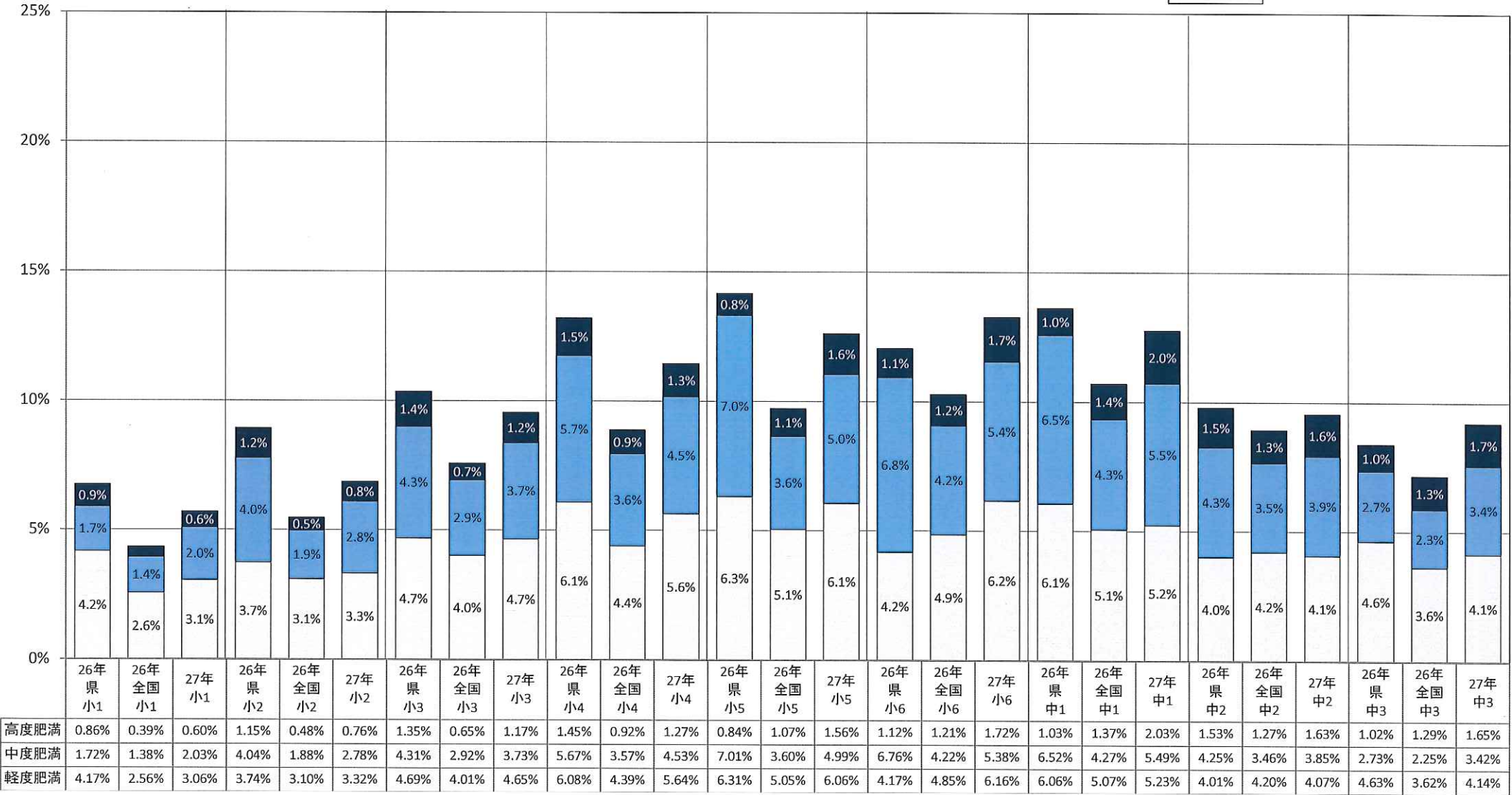
図25



平成27年度学年別肥満児の全国との比較[男子]



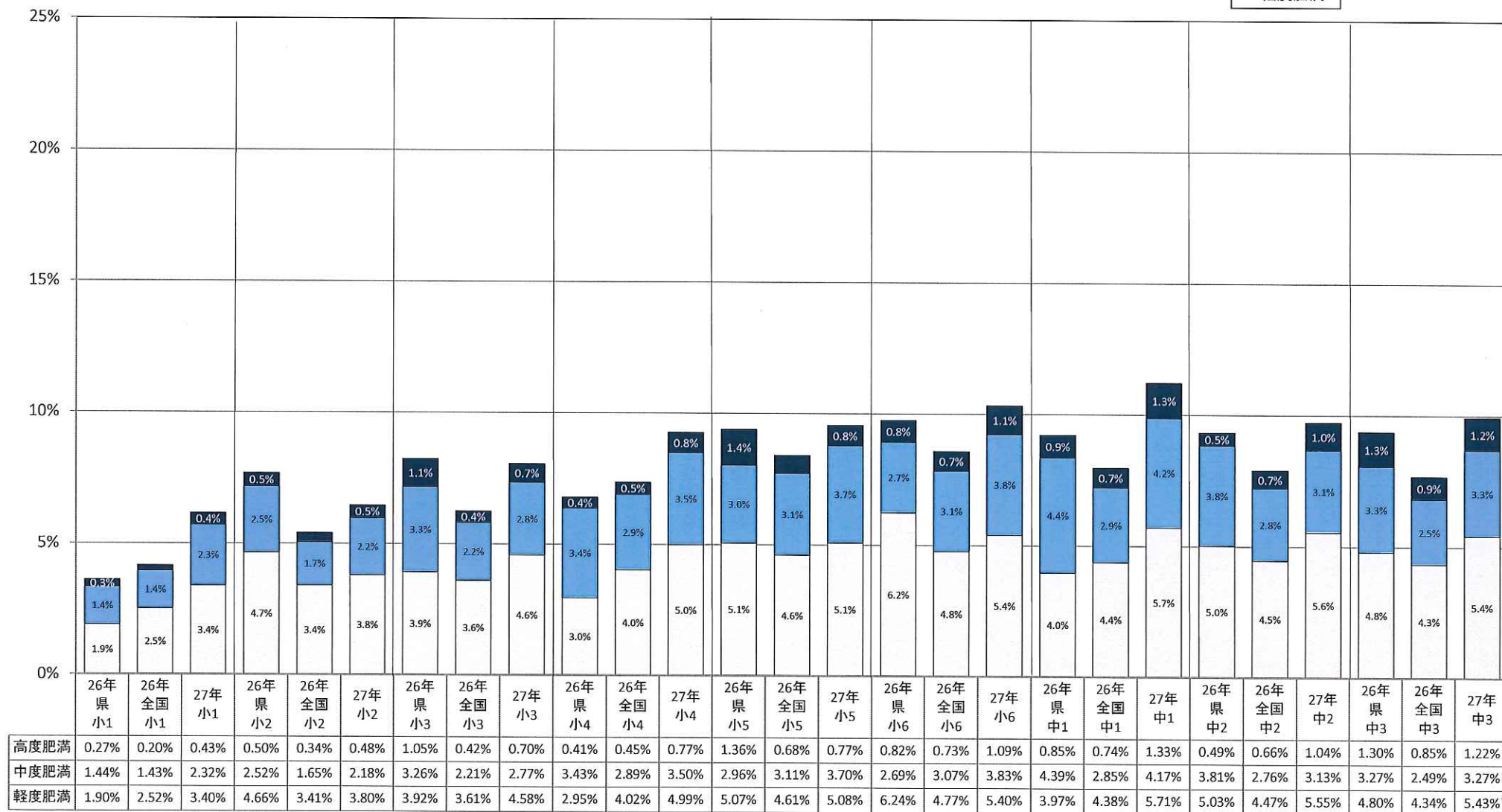
図31



平成27年度学年別肥満児の全国との比較[女子]

■ 高度肥満
■ 中度肥満
□ 軽度肥満

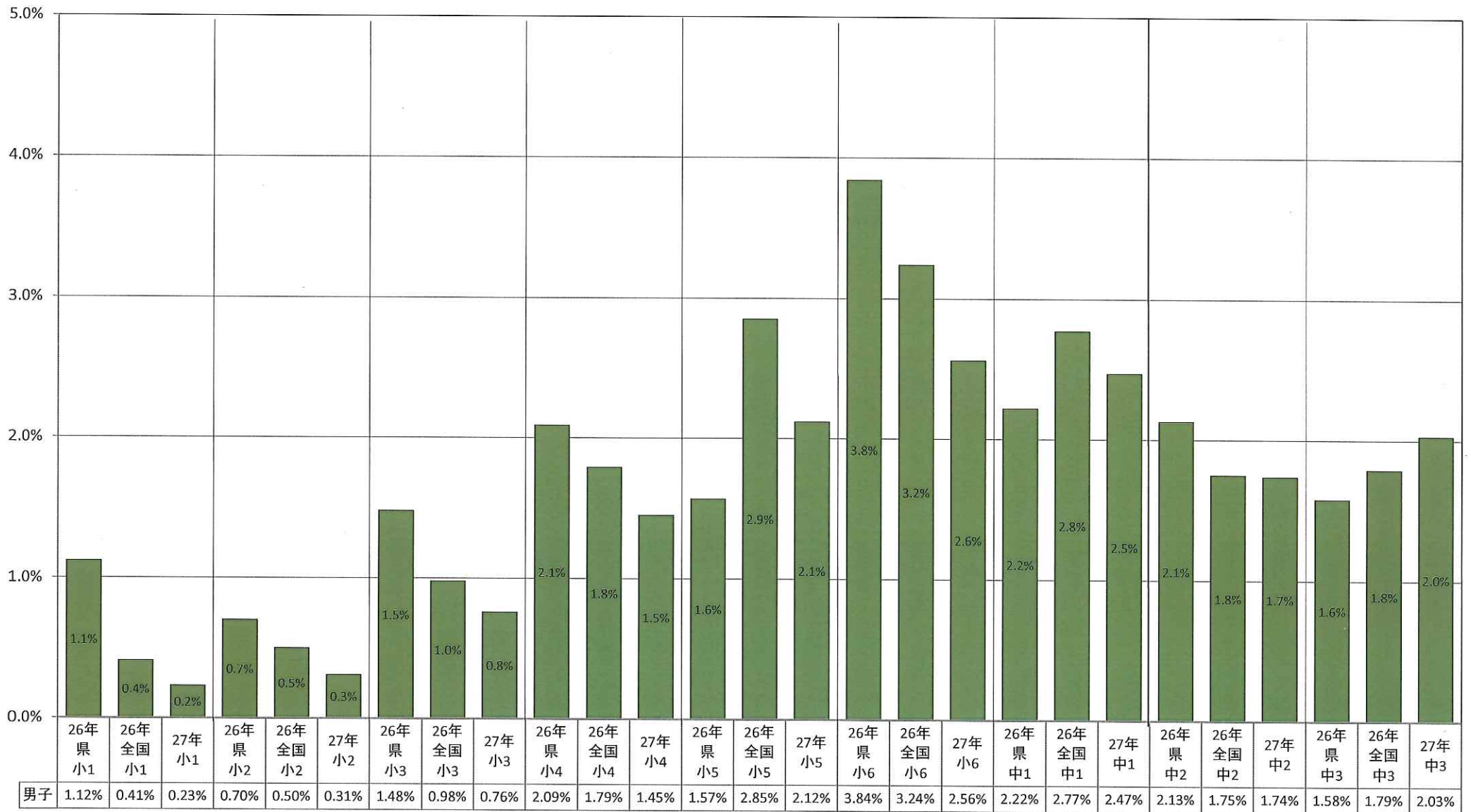
図32



平成27年度学年別やせの全国との比較[男子]

■ 男子

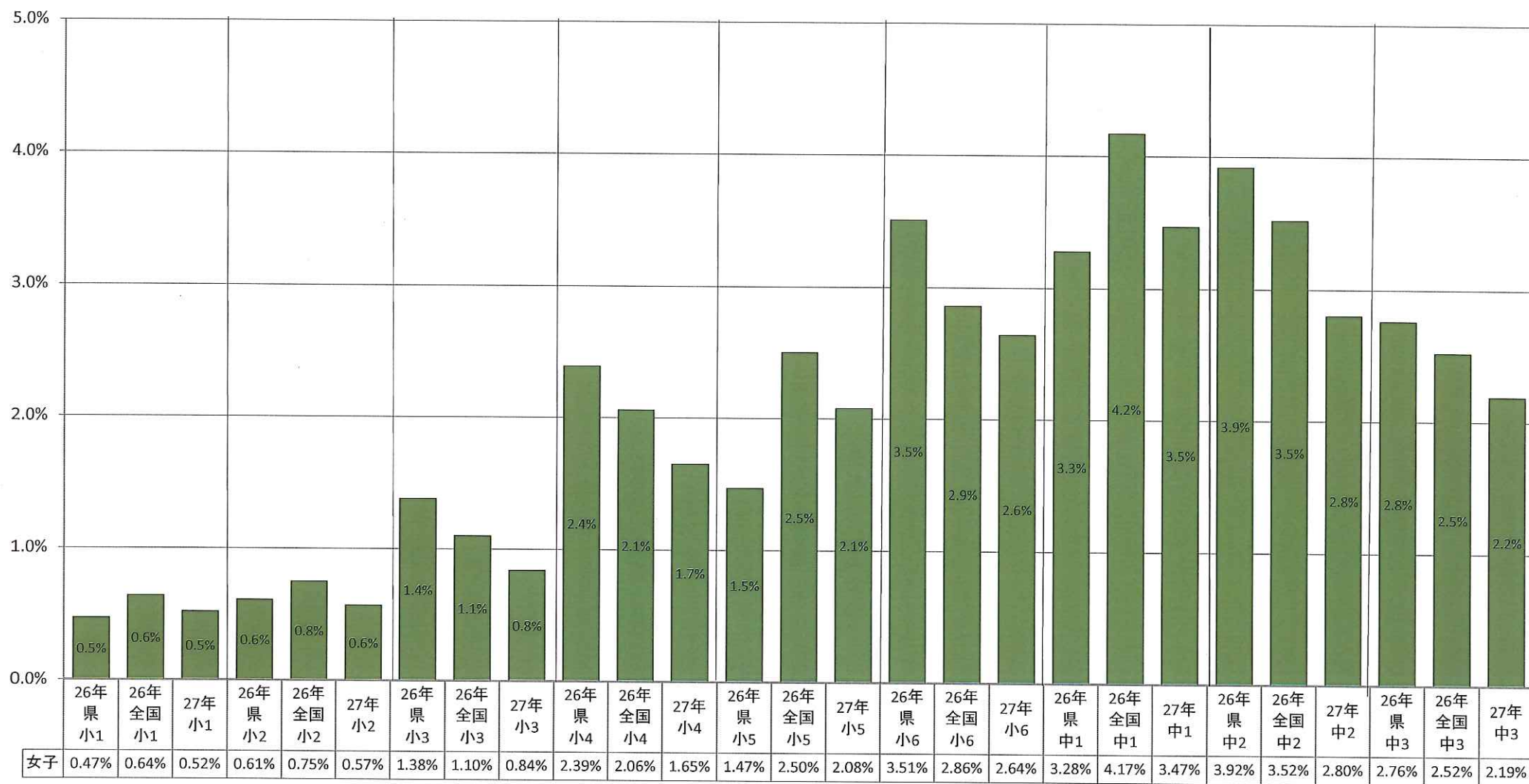
図33



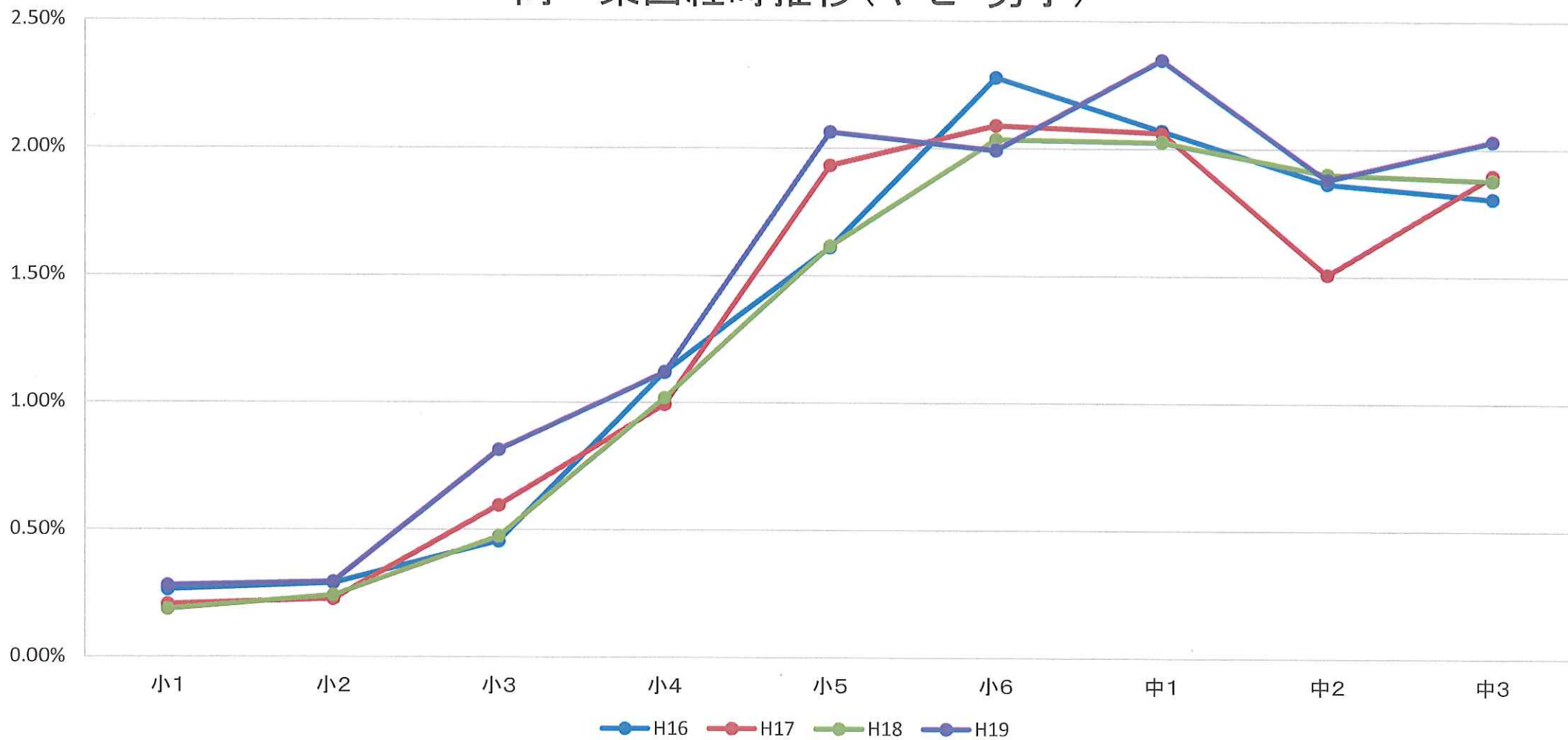
平成27年度学年別やせの全国との比較[女子]

■ 女子

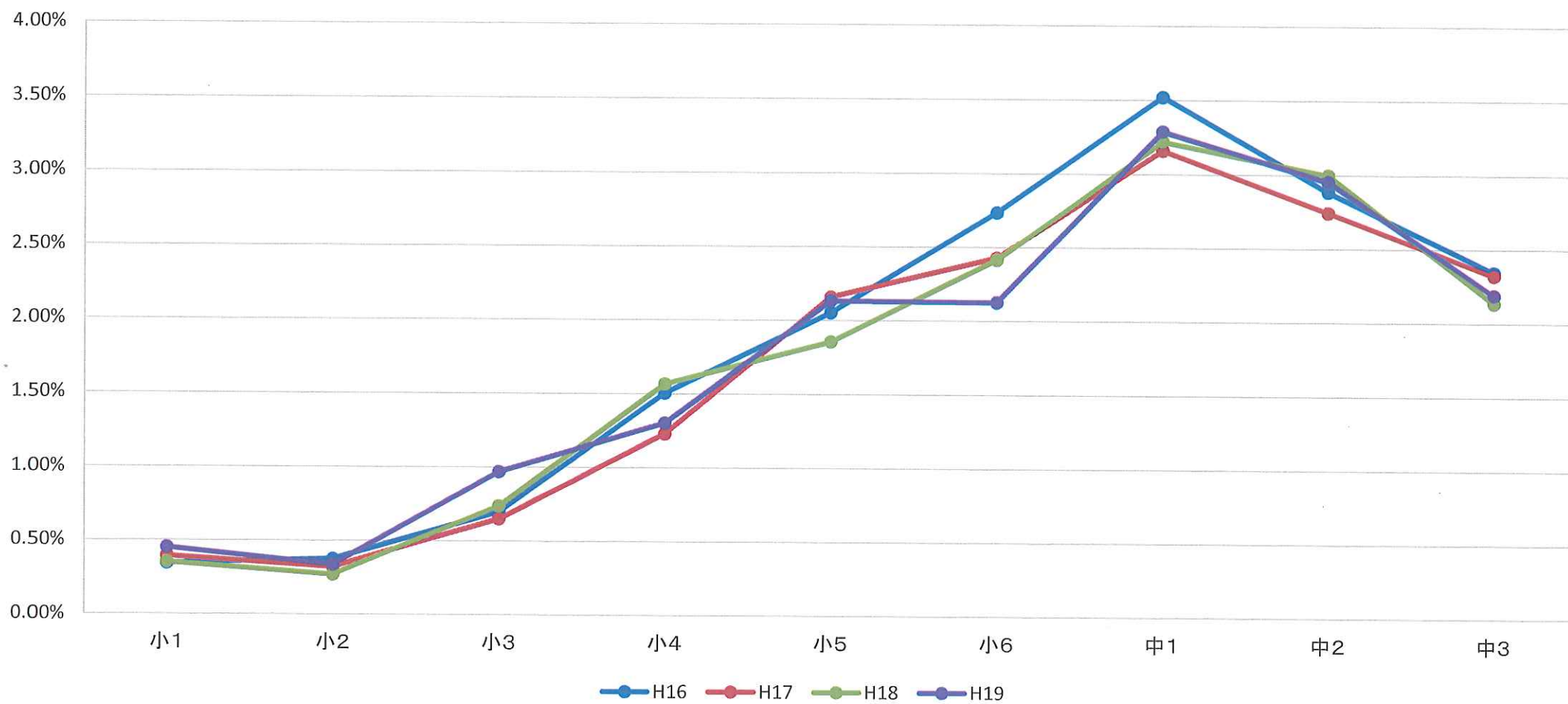
図34



同一集団経時推移(やせ・男子)

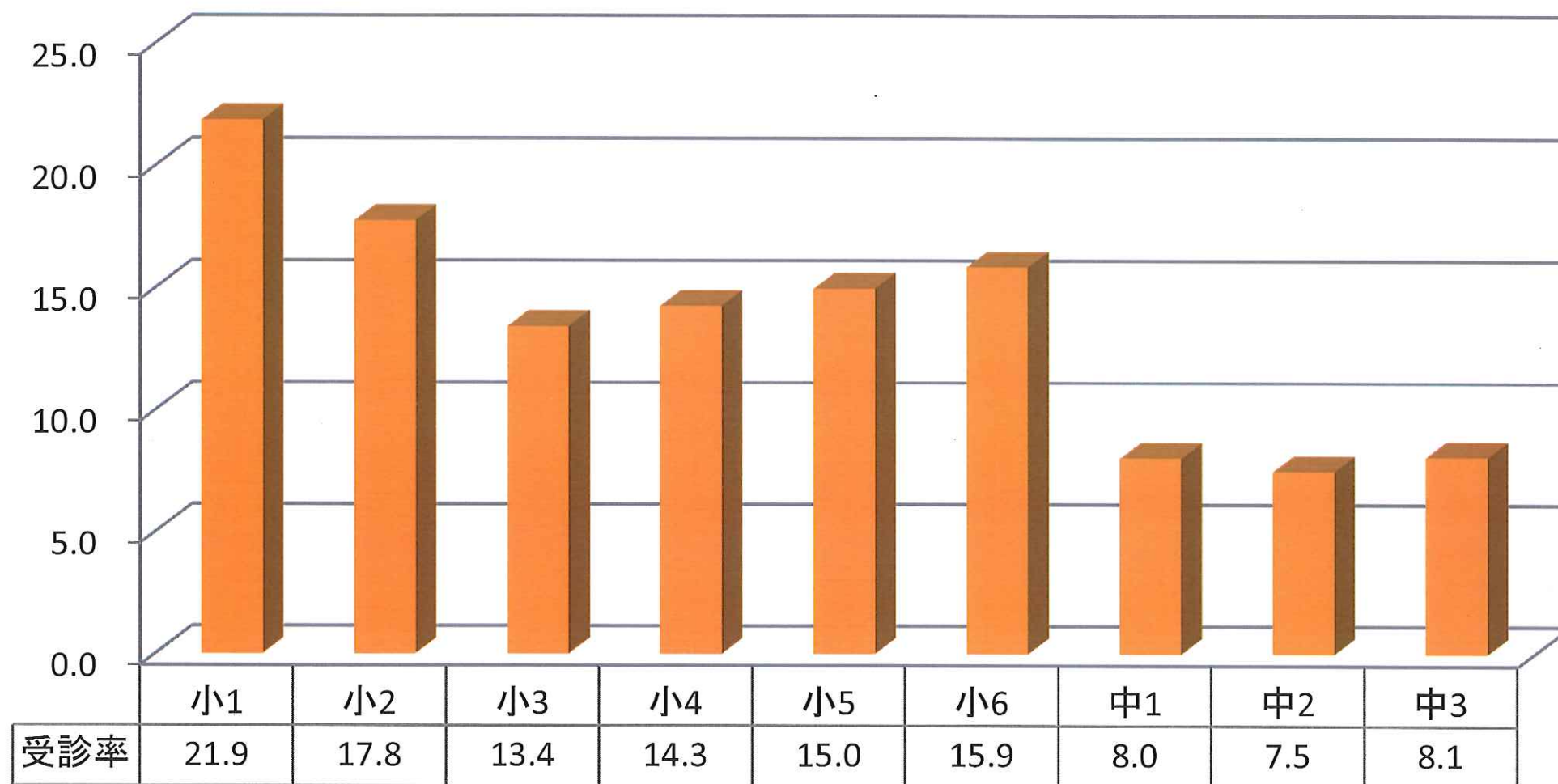


同一集団経時推移(やせ・女子)



平成27年度 高度肥満児童生徒の受診状況調査結果

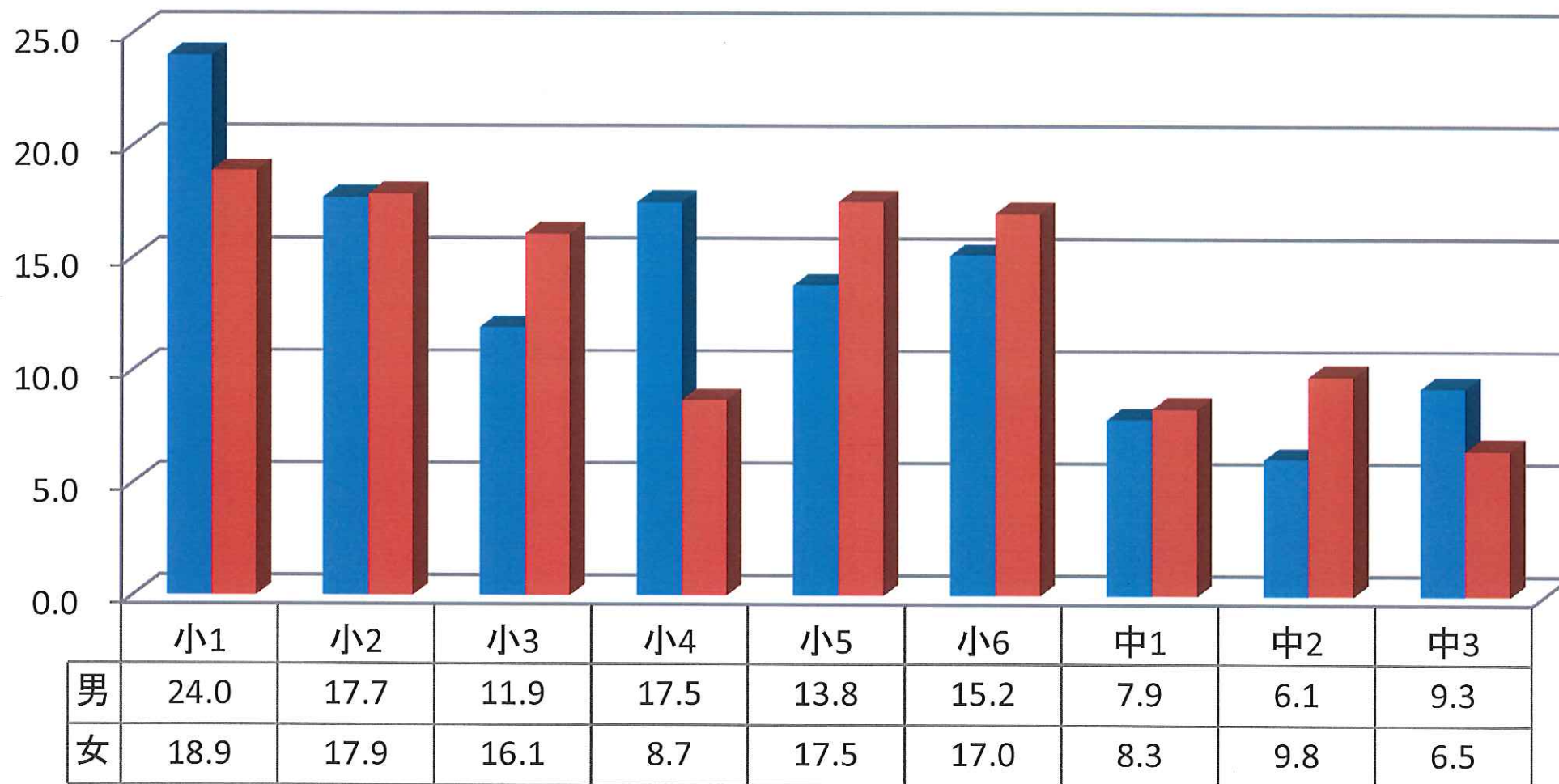
学年別受診率



平成27年度 高度肥満児童生徒の受診状況調査結果

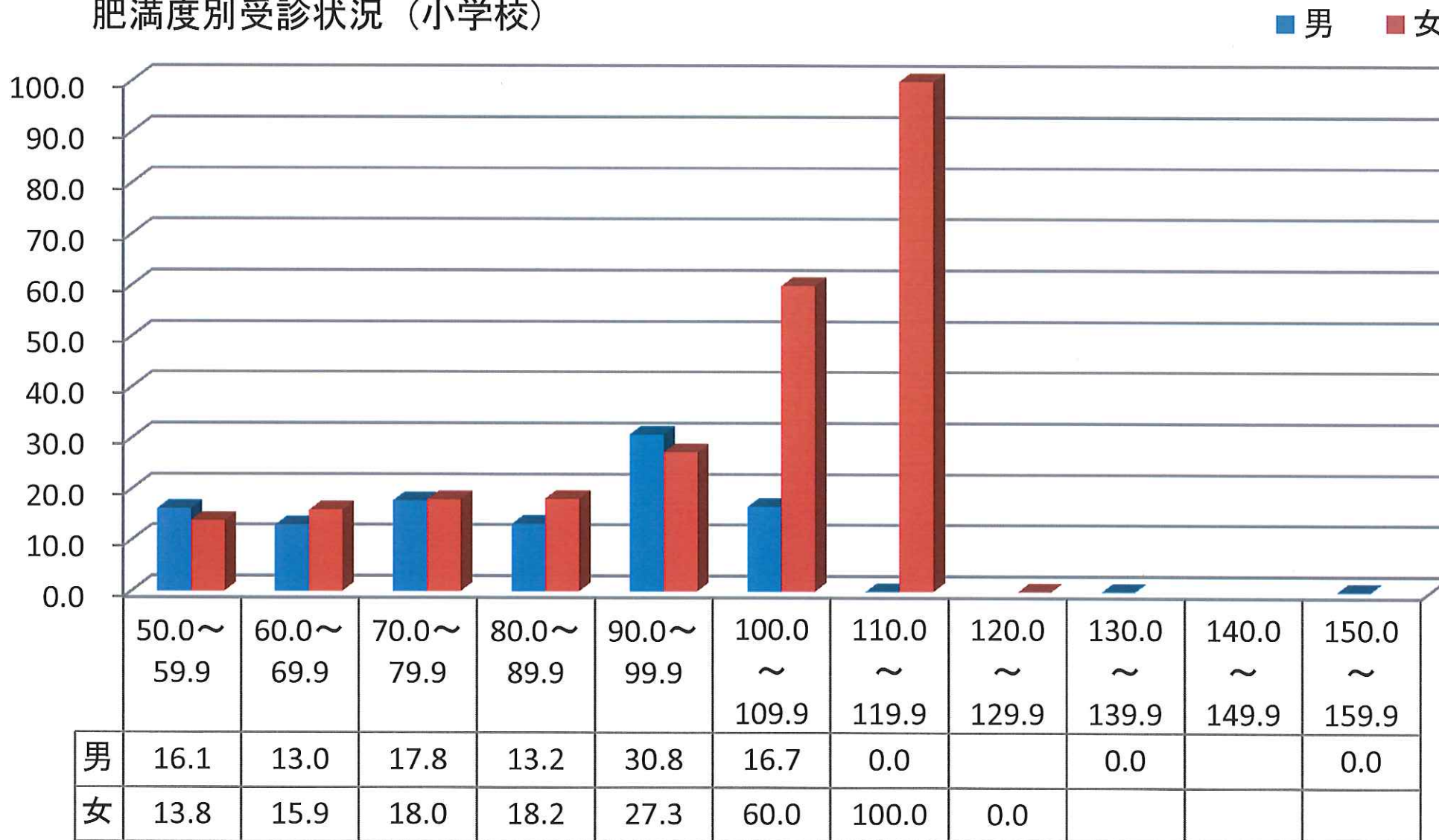
男女別受診率

■ 男 ■ 女



平成27年度 高度肥満児童生徒の受診状況調査結果

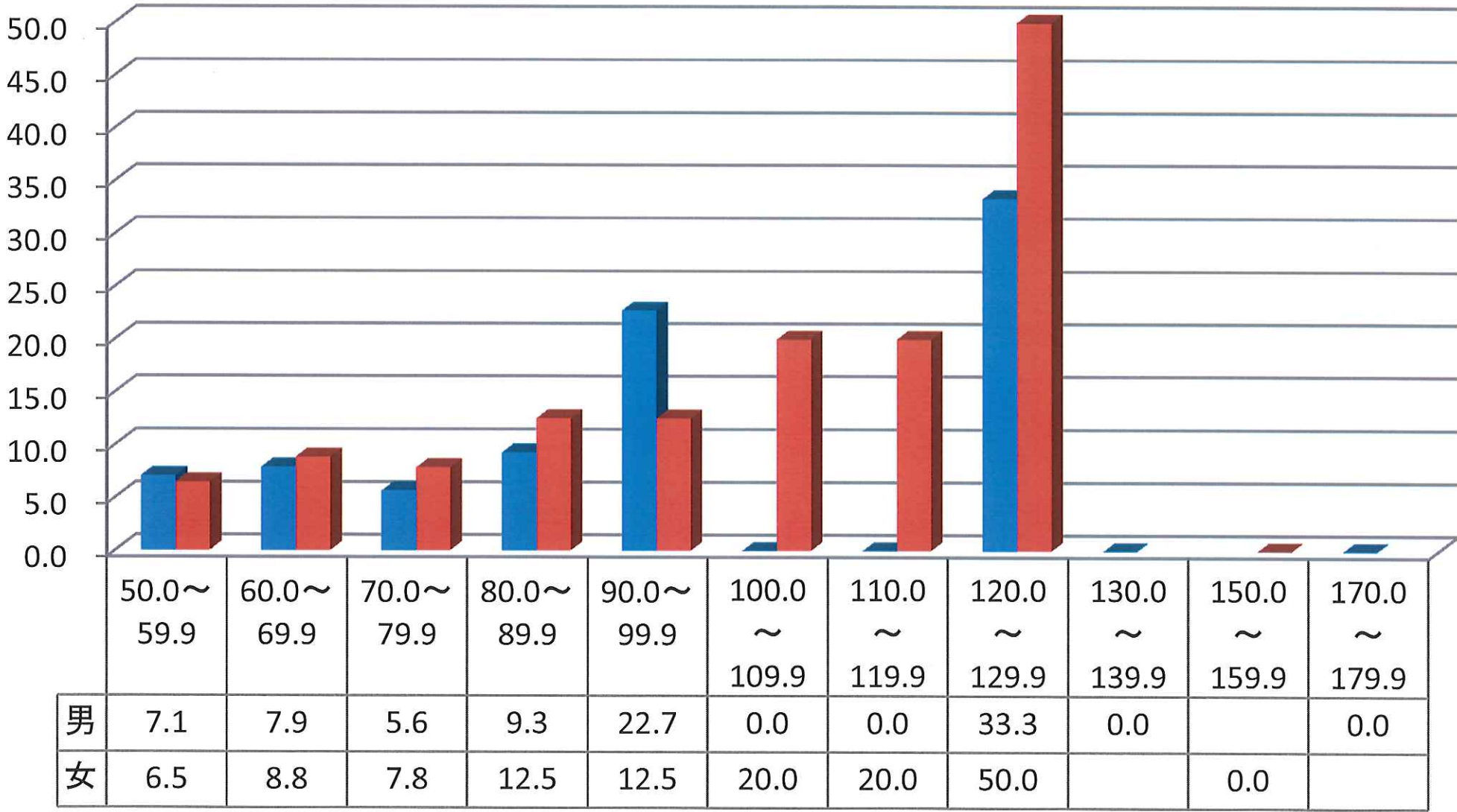
肥満度別受診状況（小学校）



平成27年度 高度肥満児童生徒の受診状況調査結果

肥満度別受診状況（中学校）

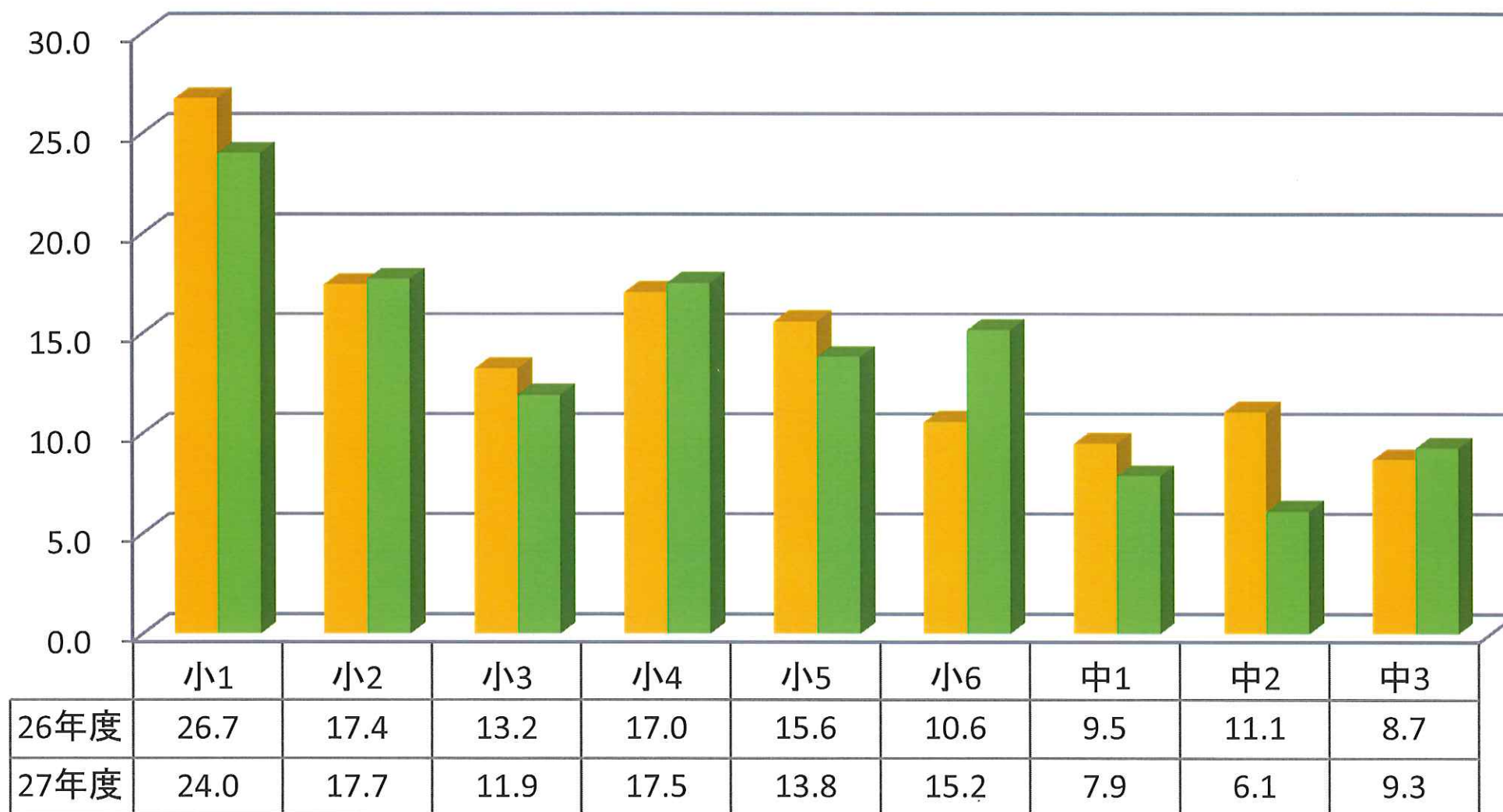
■ 男 ■ 女



平成27年度 高度肥満児童生徒の受診状況調査結果

前年度との比較(男)

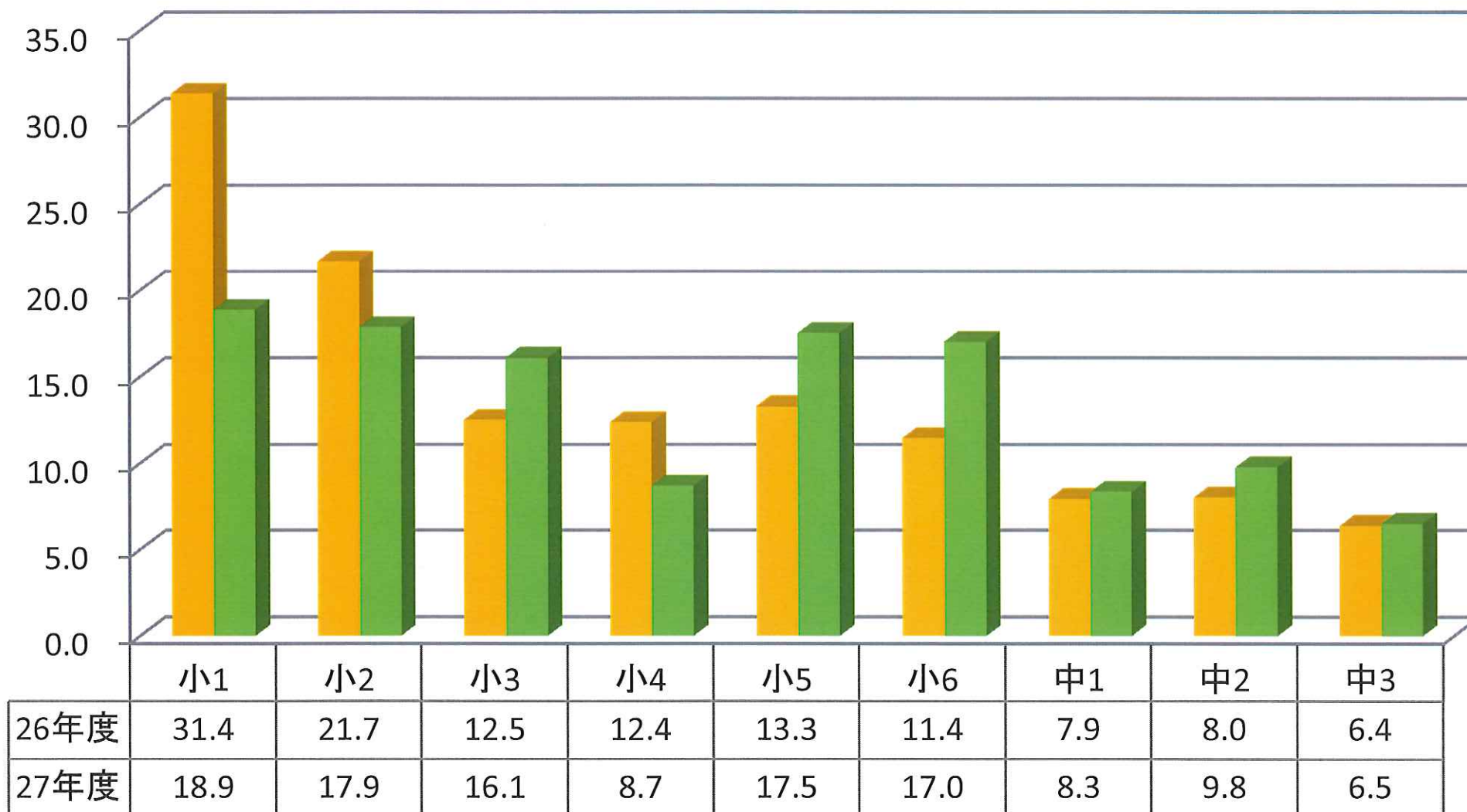
■ 26年度 ■ 27年度



平成27年度 高度肥満児童生徒の受診状況調査結果

■ 26年度 ■ 27年度

前年度との比較(女)



平成 27 年度肥満調査結果の考察

平成 14 年度から行っている肥満調査（やせについては平成 16 年度から調査）を、茨城県学校保健会 27 全支部の協力を得て、県内の小学生 151,547 名、中学生 77,353 名、計 228,900 名を対象に実施し、その結果をまとめた。

1 支部別肥満児の割合

1) 小学校男・女（図 1・2・3）

- ・ 年々減少している肥満児の割合は平成 21 年度から 10%未満になり、今年度も 9.17% だった。今年度は昨年度よりも 0.26 ポイント減少していた。
- ・ 肥満児の割合が昨年度より減少した支部は 18 支部であり、9 支部は昨年度より肥満児の割合が増加していた。
- ・ 22 年度から今年度までの 6 か年の変化を見ると、結城市・稲敷・大子 は肥満児の割合がほぼ年々減少してきている一方、結城郡は増加傾向にある事が分かる。
- ・ 軽度・中度・高度を合わせて、肥満児の割合が高い支部は、男子は結城郡・猿島・大子、女子は結城郡・大子・東茨城で、低い支部は、男子はつくば・北相馬・牛久、女子は牛久・北相馬・龍ヶ崎だった。男女を比較すると、肥満児の割合は男子の方が高かった。

2) 中学校男・女（図 4・5・6）

- ・ 年々減少していた肥満児の割合が昨年度は 0.04 ポイント増加したものの、今年度は昨年度よりも 0.2 ポイント減少し、10.38%だった。
- ・ 小学校同様、肥満児の割合が減少した支部は 18 支部であり、9 支部は肥満児の割合が昨年度よりも増加していた。
- ・ 22 年度から今年度までの 6 か年の変化を見ると、つくばみらい・坂東・常総・行方は肥満度の割合がほぼ年々減少してきている一方、龍ヶ崎・結城郡は増加傾向にある事が分かる。
- ・ 軽度・中度・高度を合わせて、肥満児の割合が高い支部は、男子は大子・稲敷・かすみがうら・猿島、女子は結城郡・東茨城・稲敷で、低い支部は、男子はつくばみらい・日立・北相馬、女子はつくばみらい・日立・那珂だった。男女を比較すると、肥満児の割合は小学校ほど差がなく、ほぼ同じだった。

3) 小学校支部別男女別肥満児の割合（図 8）

- ・ 全ての支部で肥満児の割合は女子より男子の方が高かった。男子は 7%台、女子は 5%台と、肥満児の割合が低い牛久から、男子は 14%台、女子は 11%台と肥満児の割合が高い結城郡まで、支部の差は大きかった。

4) 中学校支部別男女別肥満児の割合（図 11）

- ・ 男女とも肥満児の割合は支部によって差があり、男女差も支部によって違いが見られたが、平均で見ると、男女とも高度が 1%台、中度が 3～4%台、軽度が 5～6%台で大きな男女差は見られなかった。

2 学年別肥満児の割合

1) 小中男女別年次推移（図 14～17）

- ・ 平成 14 年度に調査を開始して以来、小学校では、軽度・中度・高度の各段階の間で増

減はあるが、各学年の肥満児の割合は減少している傾向が見られる。しかし一方、男女とも、学年が進むに連れて肥満児の割合が増加していく傾向は、調査開始から変わっていない。

- ・ 中学校も小学校と同様に、男女とも、各学年の肥満児の割合は減少している。また、男女とも、学年が上がるとともに、肥満児の割合は、緩やかに減少しているが、女子は中2から中3の変化はほとんど見られない。

2) 小1から中3までの経時推移 (図18・19)

男子は小6、女子は小6から中1をピークに肥満児の割合は減少している。

3) 支部別高度肥満児の割合 (図20・21)

高度肥満児の割合も男女差が見られ、男子の方がその割合は高い傾向にあるが、今年度、小学校では牛久・結城市・太子、中学校では水戸・常陸太田では女子の方が高度肥満の割合が高くなっていた。

4) 同一集団経時推移 肥満児・男女 (新追加図1・2)

- ・ 同一集団の9年間の経時推移を折れ線グラフにして見た時、次のような特徴があることが分かった。
- ・ 男子は軽度・中度・高度の順に肥満の割合が高く、軽度は小5から小6の小学校高学年で、中度・高度は小6から中1にかけてピークが見られる。その後肥満児の割合は減少して、中1から中2でその傾向が顕著に見られる。
- ・ 男子は小1から中3までの推移を見ると、中度・高度は、小1の時よりも中3の時の方が肥満児の割合は高くなっている。
- ・ 女子も男子と同様の傾向が見られるが、各段階とも男子と比較すると、緩やかに増加している。肥満児の割合は各段階とも、中1をピークに中2で減少し、中3ではあまり変わらなくなっている。
- ・ 女子は小1から中3までの推移を見ると、軽度・中度・高度は、小1の時よりも中3の時の方が肥満児の割合は高くなっている。

3 やせについて

1) 支部別男女別の割合 (図22・23・24・25・26)

- ・ 今年度は、小・中学校ともやせの割合は昨年度と変化がなく、同じだった。
- ・ 小学校で昨年度よりやせの割合が減少したのは11支部、中学校では12支部だった。
- ・ 小中とも、女子のほうがやせの割合が多く、中学校では男子2.08%、女子2.81%と男女差が大きく、例年と同様の傾向がみられた。
- ・ ほとんどの支部で小学校より中学校のほうがやせの割合が多かったが、今年度は太子支部のみ、小学校のほうが中学校よりやせの割合が多かった。

2) 小1から中3までの経時推移 (図29・30)

- ・ 男子は中1をピークに中2で1度やせの割合が減少するが、中3でまた高くなっている。
- ・ 女子は中1をピークにその後やせの割合は減少している。

4 全国平均との比較

1) 肥満児の割合 (図 31・32)

- ・ 男女ともすべての学年で全国平均を上回っている。
- ・ 男子は学年が上がるにつれて全国平均との差が開くが、小6をピークに肥満児の割合は減少して全国平均に近づいた。
- ・ 女子も全国平均との差は大きいですが、今年度は中1をピークにその後緩やかではあるが減少傾向が見られた。

2) やせの割合 (図 33・34)

- ・ 男子は小1から中2まで、やせの割合は全国平均を下回っている。しかし中2でほぼ同じになり、中3では全国平均を上回っている。
- ・ 女子はどの学年もやせの割合は全国平均を下回っているが、中1まではその割合は学年が進むごとに増加している。その後、中2・中3とやせの割合は減少していく。全国平均と同じ傾向である。

5 まとめと今後の課題

平成14年度から肥満調査を実施してきて、年々順調に減少してきた肥満児の割合は平成19年度頃から減少率が緩やかになり、小学校では隔年で増減が見られる状況であるが、今年度もその割合は10%未満を維持し、昨年度よりもさらに減少していた。中学校の肥満児の割合は、今年度は昨年度よりも0.2ポイント減少し、11%未満を維持している。小・中学校とも、年によって増減を繰り返し、これ以上の減少はないかと思われるが、小学校では10%未満が7年間、中学校では11%未満が5年間続いている。さらに次年度以降の動向に注目していきたい。

小学校に入学してから9年間の推移は、高度肥満の割合にあまり変化はなく、中度・軽度肥満に増減が見られた。中学校に入学すると減少していた肥満の割合は、中度・軽度肥満の生徒の割合であり、高度肥満の生徒の割合はほとんど減少していなかったことが分かる。このことから、肥満対策は、高度肥満と中度・軽度肥満の二本立てが効果的と考える。

全国平均と比較すると本県はまだまだ肥満児の割合が多い。高度肥満児が全国平均の約2倍となっている学年が男女共にみられた。高度肥満の割合は入学後も増加していき、中学校入学後にある程度は減少するが、大きな変化は見られない。高度肥満の解消の難しさを考えると、就学前の幼児期や小学校低学年での肥満を解消するための対策を講じたい。今年度も、家庭はもちろん、幼稚園や保育所との連携を推進することと、小学校での食育指導や運動習慣の定着等への取り組みが課題であり、さらなる肥満予防対策や学校含めての生活習慣の改善に努力する必要があると考える。特に、小学校3年生までの肥満児童の医療機関への受診率を上げるような働きかけを進めたい。

今年度は肥満児の多い地域、少ない地域にやや変化が見られたが、生活習慣はもちろん地域のいろいろな環境など特色も関係すると考えられる。保護者や学校医・学校歯科医・行政など地域関係機関などと連携し改善を図る必要がある。基本は、児童生徒及び保護者なので、その意味でも、生活習慣記録表の活用を呼びかけていきたい。そして週3日1時間の外遊び、『朝ごはん100%』の推進や、「咀嚼からみた肥満対策」としてよくかんで食べることなど、食育・食習慣への取り組みをさらに進めて行いたい。

やせの割合は例年全国平均より少なかったが、今年度は中学校3年男子がその割合が全国平均を上回る結果になっていた。よりよい生活習慣を身につけることができるよう、肥満児と同様、注意して見ていく必要がある。